

令和2年度第12回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会

日時 2021年1月7日（木）

午前8時30分

場所 災害対策本部室

日 程

1 開会

2 議題

- (1) 前回会議の開催結果について（資料1）
- (2) パブリックコメント（1回目）実施結果の公表について（資料2）
- (3) 13地区郷土づくり推進会議からの意見募集の状況について（資料3）
- (4) 関係団体からの意見募集の状況について（資料4）
- (5) 重点事業（案）の状況について（資料5）
- (6) その他

3 閉会

議事録

令和2年度第11回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会を次のとおり開催した。

会議名	令和2年度第11回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会
開催日	2020年(令和2年)12月24日(木)8:53~9:09
場 所	本庁舎7階 災害対策本部室
出席者	鈴木市長, 和田副市長, 宮治副市長, 岩本教育長 (構成員) 総務部長, 企画政策部長, 財務部長, 防災安全部長, 市民自治部長, 生涯学習部長, 福祉健康部長, 保健所長, 子ども青少年部長, 環境部長, 経済部長, 計画建築部長, 都市整備部長, 道路河川部長, 下水道部長, 市民病院事務局長, 消防局長, 教育次長, 教育部長, 議会事務局長, 監査事務局長, 農業委員会事務局長, 選挙管理委員会事務局長(欠席)
議 事	1 議題 (1) 前回会議の開催結果について (2) 市議会議員全員協議会(2020年12月18日)への報告結果について (3) 今後の改定作業の進め方について (4) (仮称)市政運営の総合指針2024(案)作成に向けた意見照会について (5) 重点事業(案)の状況について (6) その他
内 容	1 開会 2 議題 (1) 前回会議の開催結果について (説明者: 企画政策部長) □企画政策部長から, 資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 11月30日の第10回会議開催結果を確認するもの。 《主な意見等》 なし。 《結果》 了承。 (2) 市議会議員全員協議会(2020年12月18日)への報告結果について (説明者: 企画政策部長) □企画政策部長から, 資料に基づき概要説明が行われた。

<p>内 容</p>	<p> ≪内容≫ 2020年12月18日に行われた市議会議員全員協議会への報告結果について説明をした。 ≪主な意見等≫ なし。 ≪結果≫ 了承。 </p> <p> (3) 今後の改定作業の進め方について (説明者：企画政策部長，企画政策部課) <input type="checkbox"/> 企画政策部長，企画政策課から，資料に基づき説明が行われた。 ≪内容≫ 今後の改定作業の進め方について説明した。 ≪主な意見等≫ なし。 ≪結果≫ 了承。 </p> <p> (4) (仮称) 市政運営の総合指針2024(案)作成に向けた意見照会について (説明者：企画政策部長，企画政策部課) <input type="checkbox"/> 企画政策部長，企画政策課から，資料に基づき説明が行われた。 ≪内容≫ 最終案作成に向けた意見照会について依頼をした。 ≪主な意見等≫ なし。 ≪結果≫ 了承。 </p> <p> (5) 重点事業(案)の状況について (説明者：企画政策部長，企画政策部課) <input type="checkbox"/> 企画政策部長，企画政策課から，資料に基づき説明が行われた。 ≪内容≫ 重点事業(案)の状況について説明をした。 ≪主な意見等≫ なし。 ≪結果≫ </p>
------------	--

内 容	了承。 (6) その他 なし。 3 閉会
-----	---------------------------------------

『(仮称) 藤沢市市政運営の総合指針2024 (改定素案「第1章 基本方針」まで)』のパブリックコメントの実施結果について

『(仮称) 藤沢市市政運営の総合指針2024 (改定素案「第1章 基本方針」まで)』についてパブリックコメント(市民意見公募)の実施結果について、次のとおり本市の意見を付して公表します。いただいたご意見については、「(仮称) 藤沢市市政運営の総合指針2024」の策定のみならず、各部局において取組の参考とさせていただきます。貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

1 実施概要

『(仮称) 藤沢市市政運営の総合指針2024 (改定素案「第1章 基本方針」まで)』

2 実施期間

2020年(令和2年)10月26日(月)から11月25日(水)まで

3 提出状況

- (1) 提出者数 11人
- (2) 提出された意見数 42件
- (3) 意見の内訳

	分類	件数	割合
はじめに	藤沢市の現状と特性	4	9.5%
基本方針	策定の背景と意義	2	4.8%
	長期的な視点	1	2.4%
	まちづくりコンセプト	7	16.7%
	基本目標1 安全な暮らしを守る	3	7.1%
	基本目標2 文化・スポーツを盛んにする	2	4.8%
	基本目標3 自然を守り豊かな環境をつくる	9	21.4%
	基本目標4 子どもたちを守り育む	7	16.7%
	基本目標5 健康で安心な暮らしを支える	1	2.4%
	基本目標7 都市基盤を充実する	1	2.4%
	基本目標8 市民自治・地域づくりを進める	1	2.4%
その他	その他	4	9.5%
合計		42	100.0%

※端数処理の都合上、構成比の合計が100%にならない場合があります。

4 意見等の反映状況

区分		件数	割合
①	計画に反映(一部反映)させる意見	6	14.3%
②	すでに計画に位置づけられている意見	6	14.3%
③	今後の取組の参考とする意見	29	69.0%
④	その他の意見(①～③にあてはまらないもの)	1	2.4%
計		42	100.0%

※端数処理の都合上、構成比の合計が100%にならない場合があります。

5 意見の概要及び市の考え方

別紙のとおり

以上

お問い合わせ先 藤沢市企画政策部企画政策課
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
電 話 (0466) 50-3502
ファクス (0466) 50-8436
e-mail fj-kikaku@city.fujisawa.lg.jp

	意見の概要	市の考え方	区分
【はじめに】藤沢市の現状と特性			
1	<p>2 ページで人口減少を阻止する事に重きを置くのではなく、人口が減少していく前提で対応できる運営を考えるべき。</p> <p>子育て世代の確保が重要という表現だと、都市間で子育て世代を奪い合い、それに勝つことが大事で、藤沢市さえ勝ち残れば良いと言っているように感じる。人口減少と医療機関、店舗などの撤退が必ずしも”悪”循環とは言えない。空いた土地を利用した新たな産業やコミュニティが創生される等の良い面をも秘めていると思う。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>ご意見のとおり、将来的な人口減少の前提に立ち、土地利用やコミュニティの創生がより良いものとなるよう取り組んでいきます。</p>	③
2	<p>3 ページの公共施設の整備・再整備について具体的な数値が記載されていない。高度経済成長期につくられた施設の更新費用であれば、年度毎に費用の予測計算ができると思うので、数値も提示すべき。あわせて、過去の歳入出推移の図だけでなく、未来の再整備に必要な経費の年度毎の予定額も図にして見せるべき。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>公共施設の整備・再整備については、今年度作成している「第3次藤沢市公共施設再整備プラン」において令和3年度から令和6年度までの計画期間における事業費想定をお示しする予定です。</p> <p>令和7年度以降は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」に示しております「公共施設の機能集約・複合化による施設数の縮減」に基づき整備していく方針となっております。</p>	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【はじめに】藤沢市の現状と特性			
3	5 ページの藤沢市都市マスタープランと素案の総合指針との関連が理解できない。このプランの見直しも同時に行われるべき。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>都市マスタープランは、都市計画法に基づき法定都市計画の決定・変更に際しての指針となるものです。概ね20年の中長期を見据えた計画で、市政運営の総合指針とは都市拠点の整備や交通体系の構築のほか、緑などの自然の維持・保全や豊かな環境づくりなど相互に整合は図っておりますので、同時の見直しは想定しておりません。なお、現在の都市マスタープランは、2030年（令和12年）までを計画期間としております。</p>	③
4	5 ページの「緑地空間のネットワーク化」とは何か。あまり見慣れない表現なので、注釈等で説明を記載した方が良いでしょう。	<p>緑地空間のネットワーク化とは、谷戸、斜面緑地、農地などの連続した緑の空間を基盤として面的な広がり形成することです。海や河川などを含めた自然空間体系は、生物多様性の維持・保全の場、防災、骨格的な都市景観、海風・陸風を市街地に運ぶ道、広域観光等の役割を持つ重要な資源となっています。</p>	④

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】策定の背景と意義			
5	<p>新たな総合指針では、これまでの取組をさらに発展させ、「脱炭素社会」への転換点として重要と考える。</p> <p>20年先を見据えた基本方針としては、これまでの取組の視点として温暖化対策は単なる気候変動ではなく「気候危機」・SDGs・アフターコロナ（ウィズ コロナ）の3つ視点が重要と考える。</p>	<p>ご意見を一部反映させていただきました。</p> <p>ご意見を踏まえ、基本目標3等の「気候変動問題」という表現を「気候危機」に改めます。なお、SDGsについては、「3 長期的な視点」に記載のとおり、新たな視点としております。気候危機やアフターコロナ（ウィズコロナ）については、政策の背景となる視点であるため、関連する基本目標での長期課題の中で記述しており、第2章として今後改定を進める、直近4年間に重点的に取り組む「重点施策」の中で取組を記述します。</p>	①
6	<p>8ページの「新しい日常（ニューノーマル）が形成されつつあります。」の文章を「新しい日常（ニューノーマル）が形成されつつあり、気候危機・SDGsの視点が求められます。」としたらどうか。</p> <p>9ページの「SDGs（持続可能な開発目標）の視点も取り入れ」を「SDGs（持続可能な開発目標）、アフターコロナ、気候危機の視点も取り入れ」としたらどうか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>SDGs、ウィズコロナ・アフターコロナ、気候危機の視点は重要であると捉えております。</p>	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】長期的な視点			
7	<p>10ページの「SDGs（持続可能な開発目標）など新たな視点を加え」を「SDGs（持続可能な開発目標）、コロナ対策、気候非常事態などの新たな視点を加え」としたらどうか。</p> <p>11ページの「これらは、経済情勢や社会の変化にも柔軟に対応できるということにもつながっています。」の後に、「これらを維持し、持続的に発展させるには私たちにとって生存の基盤を揺るがす『気候危機』への対応が求められます。」を加えたらどうか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>SDGs, ウィズコロナ・アフターコロナ, 気候危機の視点は重要であると捉えております。</p>	③
【基本方針】まちづくりコンセプト			
8	<p>12ページの「SDGsの視点を取り入れ」を「SDGs, アフターコロナ及び気候危機の視点を取り入れ」にしたらどうか。</p> <p>また、まちづくりコンセプト1に以下2点を追加したらどうか。</p> <p>「○気候危機の視点から「実質ゼロカーボン」をめざす取組をします。」</p> <p>「○コロナ対策として「アフターコロナ・ウィズコロナ」に対応する取組を行います。」</p> <p>さらに、まちづくりコンセプト2に以下を追加したらどうか。</p> <p>「○技術革新を活用し、積極的に再</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>SDGs, ウィズコロナ・アフターコロナ, 気候危機の視点は重要であると捉えております。</p>	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】まちづくりコンセプト			
続き	エネ・省エネの普及に取り組みます。」		
9	12ページのサステナブル藤沢の「緑の豊かさ」について。森林の維持管理に対する補助金の拡充や農業後継者の斡旋など森林や農地を宅地開発せずに残す対策を基本目標に記載すべき。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>各行政分野における個別の事業推進についての記述はいたしません。取組の参考とさせていただきます。</p>	③
10	3つのまちづくりコンセプトの位置付け、基本目標との関係が理解できないので明確に記載してもらいたい。また、「スマート藤沢」の内容は手段である点に違和感がある。	<p>ご意見を反映させていただきました。</p> <p>3つのまちづくりコンセプトは、すべての取組に共通する考え方として位置づけています。ご意見を踏まえ、「サステナブル藤沢」「インクルーシブ藤沢」「スマート藤沢」を設定した考え方を追記します。</p>	①
11	「サステナブル」「スマート」「インクルーシブ」という言葉を並べている時点で、一人も取り残さない市政とは程遠い気がする。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>共生社会の実現をめざし、誰一人取り残さないという思いで、取組を進めてまいります。</p>	③
12	スマート藤沢が心配。5Gなど電磁波が安心安全とは対極にある。藤沢は海・川・自然をアピールし、人工的な怖さのないまちになることを	<p>ご意見を一部反映させていただきました。</p> <p>ご意見を踏まえ、スマート藤沢の</p>	①

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】まちづくりコンセプト			
続き	願う。	記述に、自然を大切にすることも併せて記載いたしました。	
13	<p>めざす都市像が漢字と平仮名なのに、まちづくりコンセプトがカタカナ英語で違和感がある。</p> <p>また、「新しい日常(ニューノーマル)」や「シビックプライド(郷土への愛着と誇り)」の様にカタカナ英語と日本語を両方記載しているが、カタカナ英語は分かりづらいので日本語表記だけでよい。</p>	<p>ご意見を一部反映させていただきました。</p> <p>ご意見を踏まえ、ニューノーマルについては「新しい生活様式」に変更いたしました。</p> <p>なお、カタカナ英語だけ、日本語だけの表記では、分かりづらい部分もあるため、引き続き両方記載しているものもございます。</p>	①
14	<p>サステナブル藤沢の中で、「今のままのやり方では、長期的視点から見て持続可能性に課題のある事業は、大胆に見直しを進めます。」とあるが、市民の福祉政策が大幅に削減される可能性があるため、「不用不急の大型事業などを大胆に見直し、市民の暮らし中心、福祉中心の事業を充実して、持続可能な元気なまちを築きます。」に修正し、福祉を充実させ暮らしやすさ、持続可能な元気なまちを実現すべき。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>ご意見のとおり、市民の暮らしや福祉に直結する事業の充実は重要ですが、それを支える活力の基盤となる人口や産業を将来にわたって維持するためには、都市基盤整備事業も並行して進める必要があります。制度や市民サービスが将来にわたり持続可能なものとなるようにすべての分野において見直しを行い、限られた財源の中で優先的に行う事業を見極めながらバランスをとり、持続可能な元気なまちとなるよう取り組みます。</p>	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】基本目標 1 安全な暮らしを守る			
15	<p>藤沢市の目指す姿として、激甚化する風水害、都市災害への総合的な取組の強化等の表記があるが「災害への対策強化」の意味合いのみが強く感じられる。今後「気候危機」による新たな感染症等の脅威も危惧されるため、「気候変動」又は「気候危機」の言葉と具体的な対策を表記すべき。もしくは、激甚化・頻発化する自然災害は「気候変動」が理由で、今後より一層ひどくなる可能性がある旨を明示すべき。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでに素案に位置づけています。</p> <p>気候変動問題については、基本目標 3 において、地球温暖化の進行を緩和する取組（緩和策）と災害に強いまちづくりなど（適応策）を両輪で進めていく必要があることを記載しております。</p>	②
16	<p>基本目標 1 の【長期課題】に以下を追加したらどうか。</p> <p>「○温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざし、新しい環境基本計画及び実行計画を策定し、その推進体制として、全てのステークホルダー（市民・事業者・NPO 法人など・大学・行政）の協働と連携により計画の推進を図るとともに、そのためのさまざまな参加の機会を設け、各主体が一体となって推進を図る体制を作ります。」</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>分野別個別計画の策定等の参考とさせていただきます。</p>	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】基本目標1 安全な暮らしを守る			
17	新型コロナウイルス感染症対策はこれから先も必要と思うので、検査体制の強化、安心安全となるための補償も入れていただきたい。	<p>ご意見の趣旨をすでに素案に位置づけています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策等については、関連する基本目標での長期課題の中で記述しておりますが、第2章の直近4年間に重点的に取り組む「重点施策」の中で検討します。</p>	②
【基本方針】基本目標2 文化・スポーツを盛んにする			
18	文化スポーツ分野では、文化都市ふじさわにふさわしい博物館や美術館などの施設整備を積極的に行って欲しい。	<p>ご意見を一部反映させていただきました。</p> <p>ご意見を踏まえ、活動の拠点の考え方等について記述を充実させます。</p>	①
19	「宿場町」の記載がされ、「継承地区」や「ガイドライン」が制定されたが、現実には道を歩いても宿場町の雰囲気はなく、長く住んでいる住民も地区の歴史を知らない状況である。宿場町についての地域の取組を育てる観点から市各機関から具体的支援をして頂きたい。	<p>ご意見の趣旨をすでに素案に位置づけています。</p> <p>基本目標2の長期課題に記載のとおり、取組を進めてまいります。</p>	②

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】基本目標3 自然を守り豊かな環境をつくる			
20	<p>基本目標3の【長期課題】に以下を追加したらどうか。</p> <p>「○気候危機への対策として、省エネと再エネを両輪として、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざすために2030年、2040年までの目標を明確にします。」</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>分野別個別計画の策定等の参考とさせていただきます。</p>	③
21	<p>「二酸化炭素排出実質ゼロに向け」とあるが、目指す姿が抽象的である。「2040年までの二酸化炭素排出実質削減目標」の具体的数値を入れるべき。</p> <p>また、2050年二酸化炭素排出実質ゼロという国の方針を長期課題内に事実として明記すべき。</p> <p>豊かな環境をつくるためにも、再生可能エネルギーの地産地消に一層力を入れてもらいたい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>基本目標は20年間の取組の方向性を示すもので、数値目標や具体的な事業等を記述する考えはございません。</p>	③
22	<p>地球温暖化対策については、もっと具体的に目標を決めていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>基本目標は20年間の取組の方向性を示すもので、数値目標や具体的な事業等を記述する考えはございません。</p>	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】基本目標3 自然を守り豊かな環境をつくる			
23	SDGs の視点は温暖化対策のためにもすぐやらなければならない事項であるため、もっと具体的な対策を記載してほしい。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>基本目標は20年間の取組の方向性を示すもので、数値目標や具体的な事業等を記述する考えはございません。</p>	③
24	<p>「二酸化炭素排出実質ゼロ」に積極的に取り組むことは賛成だが「気候非常事態」との関連を明確にしてもらいたい。</p> <p>また、「各地でのクリーン活動」や「市民との協働による環境美化」には、河川の美化など作業の安全性の観点から制限があり、市民活動だけでなく、市の役割を明確にするとともに「開発」による自然環境破壊について触れるべき。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>分野別個別計画の策定等の参考とさせていただきます。</p> <p>市民の皆様の安全性に配慮しながら、多様な主体の協働により美化活動を推進し、かけがえのない自然環境を次世代に引き継いでまいりたいと考えております。</p>	③
25	<p>一部の技術者で検討されているCO2の地下貯蔵のような、循環しない持続可能性に反するような対応は行わず、循環型の再生可能エネルギーによる目標実現をしてほしい。</p> <p>あわせて、他国や他の都市からCO2吸収量を買取り付け替えるのではなく、市内での二酸化炭素排出実質ゼロを目指してほしい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>分野別個別計画の策定等の参考とさせていただきます。</p>	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】基本目標3 自然を守り豊かな環境をつくる			
26	全ての市民に分かりやすい言葉で環境への意識をしっかりと変える政策をしてほしい。市役所，図書館，公園での自販機をやめ，給水スポットを設置するなど，レジ袋同様，市民の意識を変える取組をしてほしい。	<p>貴重なご意見として，今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>個別具体の取組は記述いたしません，取組の参考とさせていただきます。</p>	③
27	藤沢市が愛される理由は環境の良さもあるので，その部分を育みながら次世代へつなげていきたいが，必要性の感じられない広範囲の伐採には失望しかない。藤沢市歌に象徴される松並木はもうない。市はどうしたいのか。	<p>貴重なご意見として，今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>豊かな自然環境は本市の貴重な財産ですので，次世代に引き継いでまいりたいと考えております。</p>	③
28	マイクロプラスチックとなるような製品を使用しない（させない）取組も必要ではないか（人工芝から天然芝に張り替える際の補助金，プラスチック加工工場で粉塵が飛ばないように集塵機を導入する際の補助金など）。	<p>ご意見の趣旨をすでに素案に位置づけています。</p> <p>個別具体の取組は記述していませんが，基本目標3の中にご意見の趣旨を記述しております。</p>	②
【基本方針】基本目標4 子どもたちを守り育む			
29	気候危機対策に緊急性を感じており，「気候変動」による影響を一番強く受ける子どもたちに対して「気候変動」の教育を行うことを明示してほしい。	<p>ご意見の趣旨をすでに素案に位置づけています。</p> <p>気候変動に限定したものではありませんが，未来を担う子どもたちに環境教育の推進を図っていくことは重要な取組として認識してお</p>	②

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】基本目標4 子どもたちを守り育む			
続 き		り、基本目標3に環境教育の推進について記述しております。	
30	未来の藤沢を担う子どもたちを育てるため、国任せにせず、教師数の確保や学校を整備して少人数学級によるゆとりある教育を実現してもらいたい。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。 なお、新たに少人数学級に関する国の方向性が示されており、今後の取組については検討を進めてまいります。	③
31	市（教育委員会）がやるべき少人数学級の取組には言及がない。市の計画なので、公的な事業としても基本目標に記載されるべき。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。 なお、新たに少人数学級に関する国の方向性が示されており、今後の取組については検討を進めてまいります。	③
32	学校の授業で全員が電子機器を使用することが必要なのか。子どもや学生の健康への影響が懸念される。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。 子どもたちが安全安心な教育環境の下で学べるよう取り組んでまいりたいと考えております。	③
33	自然の中で身体を自由に動かし、心身がたくましく育つ場がない中、教育機器の導入が進められるなど、発達のゆがみが生じており、子どもを取り巻く環境は悪くなる一方である。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。 子どもたちが安全安心な教育環境の下で学べるよう取り組んでまいりたいと考えております。	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】基本目標4 子どもたちを守り育む			
34	<p>オンライン学習では人と関わる時間が減少すると思われるので、社会性を身に付けることができる様に取り組む必要があり、その旨の記述をすべき。</p> <p>また、イジメや教師からの暴力、セクハラ等の被害から子どもたちを守る必要がある。子どもからの発信を待ったり、受け皿となる相談窓口だけでなく、常時来校を認めて毎日が授業参観のようなオープンな環境にする等、一步進んだ課題意識・対策が必要であり、基本目標にも明記すべき。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>個別具体の取組は記述いたしません。取組の参考とさせていただきます。</p>	③
35	<p>21ページの少子化の要因について「将来の育児に対する不安や経済的な不安が根本にあると考えられます。」とあり、根本にある育児不安と経済的な不安さえ取り除けば、誰しものが結婚や出産を望むと言っているように感じられ、結婚しない生き方や子どもを求めない生き方、LGBTなどの多様な価値観を根本では否定していると捉えることのできる記載である。「将来の育児に対する不安や経済的な不安も少なからず影響していると考えられます。」に変更すべき。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>少子化の背景として未婚化や晩婚化、出産年齢の上昇、子育てに対する価値観やニーズの多様化等の様々な要因がある旨を記述しており、多様な価値観や生き方を否定しているものではありません。</p>	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】基本目標 5 健康で安心な暮らしを支える			
36	基本目標 5 の記載の大半が高齢者に対応したものとなっている。超高齢化社会を迎えるにあたっての計画としてはこれでよいが、対象はあくまでも市民全体であるべき。低所得者、障がい者、高感受性群対策などについても対象となるのではないか。	<p>ご意見の趣旨をすでに素案に位置づけています。</p> <p>長期課題としては、高齢化によるものが多くなりますが、「2040年の藤沢市の姿として」にあるとおり、すべての人を対象としております。</p>	②
【基本方針】基本目標 7 都市基盤を充実する			
37	都市マスタープラン部分改定時に藤沢地区について藤沢本町駅周辺を追加補強してもらったが、今後藤沢本町駅周辺事業や付随する課題も考えられるので、都市拠点として「藤沢駅、藤沢本町駅周辺都市拠点」を掲げることを検討してほしい。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>「藤沢駅周辺」の都市拠点は都市マスタープランにおいて鉄道などの交通軸の結節部に配置する考えの下に設定しています。13の各地区における「地区別構想」に関する内容については、都市マスタープランに基づくまちづくりの中で課題解決に取り組んでまいります。</p>	③
【基本方針】基本目標 8 市民自治・地域づくりをすすめる			
38	2040年に向けた新しい藤沢市づくりとして町内会・自治会のあるべき姿と実践を行い、「めざす都市像（基本理念）」に「市と市民（町内会）と協働の藤沢市」を掲げたらどうか。 あわせて地区活動を行う「郷土づ	<p>ご意見を一部反映させていただきました。</p> <p>2040年に向けての様々な課題につきましては、多様な立場の方々と協働して取り組む必要性を認識しておりますので、「めざす都</p>	①

	意見の概要	市の考え方	区分
【基本方針】基本目標 8 市民自治・地域づくりをすすめる			
続き	くり推進会議」事業計画見直しからの事業活動を検証し、今後の推進会議のあり方を考える時期でもあると思う。	市像」でも「多様な主体の協働」と記述し、ご意見を踏まえさせていただいておりますが、さらに具体的な記述となるよう、基本目標 8 を修正します。 また、「郷土づくり推進会議」については、2019年（令和元年）9月～10月に実施いたしました「郷土づくり推進会議のあり方に係るアンケート」でいただいたご意見等を踏まえ、地域の特性に応じて取り組みやすい組織となるよう要綱を見直しました。今後も地域課題の解決に向け、市民と市が協働し、適切な役割分担により取組を進めてまいりたいと考えております。	
【その他】その他			
39	コロナ禍により市の歳入をはじめ、市民生活の前提が大きく変化しており、これまでの実績だけでは想定できない変化がある。現段階で指針を作成できるのか。また、作成した指針も状況が明らかになった段階で、再検討が必要になるのではないか。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。 総合指針は、市長任期を踏まえて4年に1度、全体を見直すことができる仕組みとしており、現行の総合指針は令和2年度が最終年度となっているため、空白の期間が生じないよう、今年度中の改定をめざしています。ご意見のとおり、コロナ禍による影響は予測の難しいもの	③

	意見の概要	市の考え方	区分
【その他】その他			
続 き		もありますが、第2章の「重点施策」に位置づけられる「重点事業」については、進捗状況の確認をしながら、毎年見直しをしてまいります。	
40	大型店舗の開発ばかりが進み地域の小売店は生き残れていない。地域住民のつながりやその中で育つ子どもの生活は今や絶滅の一途でシステム開発が人の心を壊しているがそれらに全く目が向けられていない。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。 地域経済の循環，中小企業を支える支援策やコミュニティの活性化，子どもや子育てに関する施策等を重点施策に位置づけ，直近4年間に重点的に取り組み，誰一人取り残さないインクルーシブ藤沢の実現をめざしてまいりたいと考えております。	③
41	家を建てるコンクリートのみの家ばかりで，土が子ども時代から遠ざかり，自然を感じないまま大人になることが心配。何%か土を残すという条例を作ってほしい。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。 個別具体の取組は記述いたしません，取組の参考とさせていただきます。	③
42	コンポストを後々購入したいと思っても使えない場合が多々あるので，家を建てる時に土の割合を市に指定してもらい，規定を満たせば優遇されるなどのシステムがあるとよい。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。 個別具体の取組は記述いたしません，取組の参考とさせていただきます。	③

以 上

13地区郷土づくり推進会議における意見募集の状況

新たな市政運営の総合指針の策定にあたり、13地区において、郷土づくり推進会議委員を対象に、20年後の藤沢市の姿及び直近4年間に最も重点的に取り組むべきことについて意見交換・アンケート調査を行っています。

12月18日の議員全員協議会でご報告した12月4日までの状況に加え、1月4日までにいただいているご意見等の状況は、次のとおりです。

1 意見交換・アンケート調査依頼の実施状況

日付	会議名
10月13日(火)	明治地区郷土づくり推進会議
10月13日(火)	善行地区郷土づくり推進会議
10月22日(木)	御所見地区郷土づくり推進会議
10月22日(木)	六会地区郷土づくり推進会議
10月27日(火)	わくわく未来づくり会議(湘南台地区)
10月27日(火)	湘南大庭地区郷土づくり推進会議
10月29日(木)	村岡いきいきまちづくり会議
11月9日(月)	鶴沼地区郷土づくり推進会議
11月19日(木)	片瀬・江の島まちづくり協議会
11月19日(木)	藤沢地区地域まちづくり会議
11月19日(木)	遠藤郷土づくり推進会議
11月20日(金)	長後地区郷土づくり推進会議
12月17日(木)	辻堂まちづくり会議

※アンケート調査のご意見は、1月上旬までに提出するよう依頼しています。

2 提出状況(1月4日現在までのすべての合計)

(1)「20年後の姿」に関する意見

提出者数 101人 意見の数 159件

(2)「直近4年の重点取組」に関する意見

提出者数 91人 意見の数 169件

3 提出された意見について

(1) 意見の内訳

区分	政策分野	20年後の姿		直近4年の重点取組	
		回答件数	割合 (%)	回答件数	割合 (%)
1	安全な暮らしを守る	22	13.8	41	24.3
2	文化・スポーツを盛んにする	4	2.5	4	2.4
3	自然を守り豊かな環境をつくる	17	10.7	9	5.3
4	子どもたちを守り育む	4	2.5	17	10.1
5	健康で安心な暮らしを支える	23	14.5	24	14.2
6	地域経済を循環させる	12	7.5	9	5.3
7	都市基盤を充実する	19	11.9	20	11.8
8	市民自治・地域づくりを進める	33	20.8	13	7.7
9	その他	25	15.7	32	18.9
合 計		159	100.0	169	100.0

※端数処理の都合上、構成比の合計が100%にならない場合があります。

(2) 意見の概要（1月4日現在）

※12月5日以降にいただいたご意見には、右側欄外に「*」印を表記しています。

ア アンケート「20年後の藤沢市の姿」への意見

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
1	六会	・緑あるまちづくり。
2	六会	・子ども・高齢者・障がいのある方なども、生活しやすく楽しい生活が送れると良い。
3	六会	・市民憲章（5項目）を誰もが実感できるまちづくり。
4	六会	・「スマート藤沢」テクノロジーを活用した安心安全で暮らせるまちづくり。 ・福祉行政が他市より暮らしやすいまちの実感。
5	六会	・残されている自然環境の保全と維持活動への市民参加。
6	片瀬	・人口減、経済低迷の中にあって、ミニマムな市政への転換を。 ・SDGsのどこに重点を置くかを見据えて施策を立ててほしい。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
7	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にも強い藤沢市。 ・住民や観光客に安心，安全を提供できる施設。 ・今後，順次市民の家を建て替えるとき従来の利用方法に加えて，災害時多目的利用（例えば，福祉避難所，水害避難所等）できる施設を切望。
8	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若者にやさしいまち。 ・高いビルマンションの少ないまち。 ・工場を誘致すべし。
9	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急，江ノ電，モノレールなどの交通機関があり，移動は容易で利便性が高く極めて住み心地がよいが，交通量も多く通学路の道幅が狭いため，十分な道幅を確保してほしい。 ・児童の安全が担保されたまちにしたい。
10	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー層が多く住む活気あるまち。 ・仕事の間が集中して存在するまち（例：シリコンバレー。）。 ・税収が十分確保でき，住民のサポートが万全となるまち。 ・湘南の価値を高め，牽引していくまち。
11	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かなまちを維持してほしい。
12	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を残しつつ新しい文化，様式をうまく取り入れて明るいまちになってほしい。
13	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実に重点的に取り組んでほしい。
14	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が色々な情報を詳しく知ることができているまちになってほしい。
15	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・災害のない都市（未然に川の補修工事を行い，どんな大雨にも耐えられる堤防工事等により市民を洪水から守る。）。
16	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・南北格差の無い藤沢市全体が，個人ニーズによって住みたい地域があり，藤沢市の何処でも，機能性あふれるまちになってほしい。
17	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根付きの広い公園の整備。
18	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある農業に取り組んでほしい。
19	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が楽に安心して暮らせるまちづくり。
20	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・南部と北部の格差をなくし北部の開発。
21	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・湘南地域でリモートワークがしやすい環境が整ったまちになっている。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
22	御所見	・高齢者が買い物しやすいまちに。
23	御所見	・緑豊かで人にやさしいまち。 ・安全安心なまち。 ・買い物や医療機関に容易に足が運べる公共交通の充実。 ・高齢者が生活しやすい環境にしてほしい。
24	御所見	・豊かな環境。 ・安全で安心して暮らせるまち。
25	遠藤	・これまでの計画の検証を行った上で改定を進めるべき。
26	遠藤	・ゼロカーボンをめざして達成間近であり，気候危機を心配しなくて良い，魚が戻った自然で美しい海のある藤沢。 ・5G，6G，7Gなどない安心安全なまち。
27	遠藤	・普通に暮らしやすいまち。 ・隣近所の顔がわかるまち。
28	遠藤	・クーポンを配布していたが，クーポン取扱い以外のお店はガラガラになっていた（バランスよく。）。
29	遠藤	・便利になるのはよいが農業生産ができる藤沢市であってほしい。
30	遠藤	・農地等の遊休地や温暖化による親水公園の整備での土地の一部を利用し，ソーラー発電パネルを設置してCO2削減をする。
31	遠藤	・安定した生活の維持と充実した環境整備がなされた成熟した都市，減少する人口に対応した総合施策の下，豊かさを感じる市民生活の確保がなされている中流意識。 ・公助の範囲の明確化。 ・5G及びデジタル化が進み私たちがこれに順応できるか，意識改革の時代到来。
32	遠藤	・災害対策。 ・自然環境を意識したまちになってほしい。
33	遠藤	・今や各町内で自治会を抜ける人が目立つ。この辺りをテコ入れしない限り町内会の崩壊は時間の問題。真剣に考えるべき。
34	長後	・子ども，高齢者が安心して歩ける道路の整備。 ・近くに食料が買えるスーパーがある。
35	長後	・高齢化が進む中，地域共生社会の実現に向け，支え，支えられ共に生きがいもてるまちを作ってほしい。

*

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
36	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・市民誰もが安心して楽しく暮らせるまち。 ・活気あるまち。 	
37	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の充実した、箱物行政でない、心の豊かさを感じられるまちになってほしい。 ・首都圏に位置しながら、自然豊かな中核都市を望む。これ以上の自然破壊はやめ、人口減少の中でも税収が維持できるように具体策の検討をしてほしい。 	
38	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画のしっかりした歩道の整備されたまち。 	
39	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が少し増えているとはいえ、高齢化に伴い大幅な税収減による市政運営が難しいと思う。 	
40	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・安全，安心，豊かな暮らしのできるまちづくり。 ・将来に向けた住みよい都市計画の整備。 ・高齢者等に対する福祉の充実。 	*
41	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・市の成人検診案内における高齢者の受診料の無料アイテムの拡大化と高額受診料の減額化。 ・学童のみならず老人や身体障がい者が安心して歩ける道路交通整備。 ・コミュニティバスの開通設置（公共交通機関のない地域。）。 	*
42	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・長後地区は道路が狭いため、小中学生の通学路が安心安全で通学できるよう希望する。(特に、長後小学校に大きな道路を渡るところがあり、待機できるスペースがあると安心だと思う。大きな希望ではないが、ぜひ狭いというイメージをなくしたい。) 	*
43	辻堂	<ul style="list-style-type: none"> ・団塊の世代にかかる費用をどう下げるかが最大の課題。 ・デジタル福祉，リモート福祉を推進し，団塊の世代にかかる費用を省力化すべき。 ・自分たちの福祉は自分たちでやるべき。財政負担が半分になるように，自分たちで組織を作った方が良い。 	*
44	辻堂	<ul style="list-style-type: none"> ・津波，地震対策が重要。一本化した情報の流し方を確立してほしい。災害時に全市民にどう知らせるのが大事。 	*
45	辻堂	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の家庭が増え続けるまち。 ・70代の人々が働ける場づくりを積極的に提供しているまち。 	*
46	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と市民が一体となって指針を作るべき。 	
47	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育機会の平等化。 ・高齢者の介護体制の充実。 	

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
47	善行 (続き)	・農地・里山等の自然保護。
48	善行	・社会も学校もインクルーシブであってほしい。
49	善行	・藤沢は文化のまち。今後も、行政が市民に寄り添う基本理念を続けてほしい。
50	善行	・若い人と高齢者が共生していけるまちづくりで住み続けたい日本一の市にしてほしい。
51	湘南大庭	・高齢者も安心して散歩できるまち。
52	湘南大庭	・生産年齢人口の減を食い止めるのが最大のテーマだと思う。 ・基本目標6の地域経済を循環させることも大切。
53	湘南大庭	・子どもから大人、高齢者がずっと住んでいたいと思える暮らしやすいまち。
54	湘南大庭	・誰もがやりたいことが見つけられ、実施できる環境作り。 ・情報の受発信が容易となるようなICTの推進。
55	湘南大庭	・高齢者が気軽に行きたい時に行きたい場所へ自由に動けるまち。
56	湘南大庭	・市全体のオールドタウン化を防ぎニュータウンに再生。 ・観光ルートの開発、整備。 ・大庭城復元。
57	湘南台	・やさしく楽しく本気でやるまち（若い人の参加、仕事をしていても市民参加が可能になる仕組み。）。
58	湘南台	・北部地域の活性化、区画整理がもっと必要。 ・税金だけで賄う時代ではない。10年20年先を見据えて市の財産を計画的に活用していくことを検討すべき。
59	湘南台	・温室効果ガスゼロのために自然エネルギー100%利用。 ・若い世代が活躍できる多くの会社がある。 ・自然を残した環境。 ・食料自給率の向上。
60	湘南台	・13地区それぞれで、今まで暮らしてきたところで、引き続き静かに暮らせるようになるといい。 ・将来の人口推計（人口構成）に見合った予算配分をしていくべき。 ・将来、心豊かに過ごせるよう今から手を打っておくべき。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
61	湘南台	・老後が安心して暮らせるまちに。
62	鵠沼	・鵠沼奥田線が計画道路として位置づけられているが、どのように扱うのか。
63	鵠沼	・基本目標の中に「豊かな環境をつくる」とあるが、環境といっても様々な環境がある。鵠沼地区では海岸もあるので「豊かな自然環境をつくる」としていただけるとわかりやすい。
64	鵠沼	・厳しい財政状況とあるが、やりたいことはたくさんある一方、どうやって切り詰めていくのかが見えづらい気がする。
65	鵠沼	・現状維持で十分。
66	鵠沼	・ニューノーマルへの対応などを踏まえて、3つのまちづくりコンセプトを追加予定とのことだが、3つのコンセプトでのコロナとの関係性が見えづらい気がする。
67	鵠沼	・湘南というゆるやかな雰囲気の中で、多様性のある様々な人々がお互いを認めて助け合って生活していけるまちに。
68	鵠沼	・分譲等により緑が消えつつあるため、市の管理地だけは緑を残してほしい。
69	鵠沼	・シンボリックな活動やイベントがあり、市民が日常生活の中で自然と取り組んでいるまち、それを市の自慢、誇りとして発信する。
70	藤沢	・都市マスタープランでは、藤沢駅周辺を都市拠点としているが、藤沢駅周辺だけでなく本町駅周辺までを一体に捉えてほしい。
71	藤沢	・安全安心に暮らせる藤沢。
72	藤沢	・すべての市民にとってやさしい暮らしやすいまち。
73	藤沢	・認知症にやさしいまち。
74	藤沢	・自然災害に耐えうるまちづくり、自治会、町内会単位で避難場所対策をつくる。 ・スマホ活用により、必要な場所（買い物、医療、金融）へ移動できる交通手段をつくる。 ・互助の精神を自治会単位で発揮できる組織強化。
75	藤沢	・SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」まちになってほしい。いわゆる弱者をつくり出さない取組を続けた成果のあるまちに。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
76	藤 沢	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪，災害のないまちづくり。 ・高齢者が増えるので，核家族化による医療，介護の問題。 ・空き家対策。 ・町内会の役員不足，不参加，隣近所の交流不足。 ・公民館まつりのようなイベントを増やすこと。
77	藤 沢	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢型地域包括ケアシステムに守られて不安のない充実した老後の生活が送れ，住んでいて良かったと言われる藤沢市になってほしい。 ・明治地区で実証実験中の高齢者の見守りシステムを藤沢地区の郷土づくりでも取り組み始め研究中である。近い将来藤沢市全域で高齢者の見守り活動を実現させたい。
78	藤 沢	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の実現をめざす。 ・高齢者や子どもが安心・安全に暮らせるまちづくり。
79	藤 沢	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の人たちを「住みたいまち」藤沢に誘導する「まちづくり」 ・積極活動する町内会，自治会への衣替えが今後ますます課題になる。今こそ市民が喜んで活動する真の「藤沢市型町内会，自治会」づくりを始め，そのことが藤沢市転入希望者への誘導ポイントの一つになると思う。
80	村 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく活気のあるまち。
81	村 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を超えた交流の場が欲しい。 ・市民の家の活用をもっと多くし，憩いの場にしてほしい。
82	村 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・これといった期待はない。
83	村 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心に暮らせるモラルのあるまち。
84	村 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市の民度の高さを20年後も維持されることを期待する。他市からやってくる人たちが従う「藤沢の掟」のようなものがあったとしても良い。市民の力でトライするしなやかさを持ったまちになってほしい。
85	村 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致，地域経済の活性化に取り組み，財政状況を良くする。
86	村 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子どもたちが安心して暮らせるまち。
87	村 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の環境整備（人・車・車椅子が通りやすくしてほしい。）。
88	村 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩していて楽しい，どこの家からも緑葉が覗いていて鳥のさえずりが聞こえるようなまちになってほしい。
89	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちをのびのびと安心して育てられるような環境，支援をし，高齢者数以上の若者のまちになってほしい。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
90	無回答	・安心して暮らせる「ふるさと」。
91	無回答	・高齢者に優しい住みやすいまち。
92	無回答	・安心して日常生活を送れるように。
93	無回答	・安心・安全で誰もが住みやすいまち。
94	無回答	・南部（辻堂地区）は道路整備等されているが、北部も大切にしたい。
95	無回答	・福祉に力を入れたまち。 ・教育に力を入れたまち。 ・ITの利用で進んだまち。
96	無回答	・自然を生かし持続可能なまちに。 ・地元で採れた新鮮な食品で、いつまでも藤沢で生きていたいと思えるまちに。
97	無回答	・みんなが幸せに楽しく暮らせるまち。
98	無回答	・健康寿命の長い都市。 ・若い人が希望を持って活躍できる都市。
99	無回答	・市の中心部だけでなく、市の外れの交通の便が良くなってほしい。
100	無回答	・住みやすいまち。 ・生活環境がよい魅力のあるまち。
101	無回答	・働ける企業があること。 ・安全安心な地区であること。 ・人と人のふれあいが豊かなこと。

※アンケートのほか、意見交換当日にいただいたご意見も含まれます。

イ アンケート「直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと」への意見

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
1	六会	・自転車通行区分帯の整備。 ・携帯電話（ながら使用の取り締まり。）。)
2	六会	・藤沢市独自の新型コロナウイルス感染症対策を進めてほしい。
3	六会	・東海地震への津波等災害対策。 ・観光と景観の両立。
4	六会	・災害（地震、大雨、強風等）に強い体制づくりと、各地域と情報共有できる体制。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
5	六会	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の先生が IT 授業の技能を身につけ、生徒が100%タブレットを活用できるようにすること。 ・災害、避難所の定員、対応の質の見直し。
6	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の充実（市独自の社会保障制度の充実。）。 ・コロナ禍で経済的影響が大きくなる中、ひとり親家族、個人事業主への支援を。 ・SDGs。
7	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・行政のデジタル化、特に各市民の家の有効活用、インターネット Wi-Fi の開設、設置。
8	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsは何を目標にするのか。 ・FAX 回答は時代遅れ、電子化すべし。
9	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市（町田、相模原、大和、鎌倉、横浜市栄区、茅ヶ崎など）と連携して河川のごみの流入防止と継続監視するシステムを構築し、拡大してほしい。 ・個人情報保護法の藤沢市なりの運用を定め、独居老人、高齢者夫婦、知的障がい者、肢体不自由者の、津波、地震発生時の安否確認、救助の優先順位を決めてほしい。
10	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業誘致による、湘南地域のブランド向上と税収増（IT 関連事業を中心としたエリアを造りブランド化し、エンターテインメント、レジャー関連ビジネスを呼び込む基盤を作る。）。 ・ファミリー層が住みやすいまちづくりを行う。 ・不要不急事業に予算はつけず、メリハリをつけ、前向きなものに金を使う。
11	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての充実。 ・福祉の充実。
12	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての市民がデジタルに対して前向きに勉強する。
13	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の強化（新しい生活様式における新しい防災。）。
14	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断受診率100%をめざし、医療費の削減につなげる。
15	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。
16	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・遠藤地区の市街化に向けての相鉄の延伸。 ・慶應義塾大学との連携。 ・市民会館の建て替えでの、魅力のある計画。 ・村岡新駅の具体化。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
17	御所見	・高齢者が暮らしやすい地域になってほしい。
18	御所見	・農作物の価格安定に取り組んでほしい。
19	御所見	・御所見地区の買い物難民対策。
20	御所見	・医療設備の充実。
21	御所見	・高齢者の住みよいまちづくり。 ・行政の簡素化。
22	御所見	・行政デジタル化の促進と市内どこでもWi-Fiが使用可能になること。
23	御所見	・農業の存続対策の取組。
24	御所見	・子育て支援の充実。 ・空き家対策。
25	遠藤	・環境を配慮した大規模な改革をしたまちづくりと、緑を作る条例がほしい。
26	遠藤	・相鉄いずみ野線延伸の具現化。
27	遠藤	・相鉄いずみ野線の慶應義塾大学までの延伸。
28	遠藤	・自治会組織の構築（加入に対する市の指導）、向こう3軒両隣活動。 ・美化推進活動。 ・道路と歩道間の植え込みの対策。
29	遠藤	・固定資産はメンテナンス費用を計上してから取得してほしい。 ・環境整備ができていない（4年後はできるといい）。
30	遠藤	・自治会等、市の仕事で使えるパソコンがあるとよい（自由に使える事務所的なもの）。 ・役所や公の場所ではWi-Fiが使えるようにすべき。
31	遠藤	・大規模災害での避難で、避難行動要支援者について、自治会に未加入世帯が増える傾向にあり、民生委員は地区内対象のため、両者を含めた組織が必要。
32	遠藤	・無駄な支出を削減し、少なくとも「現状を維持すること」に重点的に取り組んでほしい。
33	遠藤	・ゴミの戸別収集について。現在、回収作業員は若い人が行っているが、将来もこのように若い人が職に就くか心配である。

*

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
34	長後	・藤沢市の各部署や各課の横のつながりを作って情報が柔軟に通じるようにし、縦割り行政の廃止。	
35	長後	・新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組んでほしい。	
36	長後	・新型コロナウイルス感染症対策。 ・高齢者にもわかりやすいデジタル化の推進。 ・障がい児者、高齢者が安心してまちへ移動できる交通網の整備。	
37	長後	・健康第一にする施策のアイデアを出し合い、実現する施策をしてほしい。 ・50代から70代までの世代に積極的DX改革を進めるべき。 ・行政もメール、リモート等を利用できるように。	
38	長後	・若者が希望を持てる子育て支援の充実。 ・中学校に給食を。	
39	長後	・地震対策に対する上下水道の耐震管の交換。 ・高齢化による買い物不便地域へのコミュニティバスの運行（どこの地域も路線バスの廃止で買い物に困っている人は増えている。）。	
40	長後	・北部地区の地域商業、経済の活性化。 ・都市計画事業（道路等）の早期実現。 ・高齢者等の弱者が安心できるまちづくり。	*
41	長後	・全市民のコロナウイルス検査の無料実施化（潜伏者の早期発見、早期治療。）。 ・全市民のワクチン接種の無料実施。	*
42	長後	・長後の一番はずれに住んでいるが、厚木基地の関係で引っ越しをしてしまう方が多く、空き地になっている。それをどうするか重点的に取り組んでほしい。	*
43	辻堂	・65歳以上の男性が働ける場づくりを積極化してほしい。	*
44	善行	・災害に強いコミュニティを作る。 ・新型コロナウイルス感染症による生活困窮者への支援。	
45	善行	・災害に強いまちをつくる。	
46	善行	・13地区郷土づくりの委員と年3回くらい話し合いを持って欲しい。	
47	善行	・子育て支援の充実（行政や企業の思い切った改革によって子育てしやすい市をめざしてほしい。）。	

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
48	湘南大庭	・全市民に対して定期的なPCR検査の実施。
49	湘南大庭	・子育て支援の充実。
50	湘南大庭	・健康寿命延伸のためのフレイル予防の周知への取組。
51	湘南大庭	・辻堂駅と健康と文化の森を結ぶ定時運行できる交通手段の確保。
52	湘南大庭	・新型コロナウイルス感染症対策。 ・民生委員・主任児童委員の強化。
53	湘南台	・新型コロナウイルス感染症対策。 ・税込安定のため企業の育成。
54	湘南台	・人を育てる（挨拶，信頼，尊敬。）。 ・先を見据えるぶれない指導力。 ・自然環境との共力，共有，共賛，共生等を最大限に生かしていけたらいい。
55	湘南台	・バリアフリーの歩道の整備。 ・防災（減災）のための準備の見直し（再整備。）。 ・100t水槽運用の見直し（市民による始動の可能化。）。 ・各地区，全避難施設の収容人数の再計算。
56	鵠沼	・スマート行政。 ・収入増へのアプローチ。
57	鵠沼	・地域経済の活性化と，それによる税収の向上による財政の改善。
58	鵠沼	・市税はあくまでも平等に活用することを望む。 ・市税も確保するために市債の発行はやめてほしい。 ・法人税等の税収を上げられる施策が必要。
59	鵠沼	・市のシンボルである「海」から派生して「自然環境を徹底的に守り育てる藤沢市」のための取組を強化してほしい。 ・地球環境を守る重要性についての理解を深め，豊かさ・便利さを追求してきた生活のダウンサイジングの取組（環境負荷を軽減する取組）の強化。
60	藤沢	・今後発生する可能性が高い大地震や温暖化に伴う台風や洪水に対する対策。 ・ひとり暮らし高齢者の見守り。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
61	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な暮らしを守る。 ・健康で安心な暮らしを支える。 ・子どもたちを守り育む。
62	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと宿場町再建に力を入れてほしい。
63	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者・避難行動要支援者と市の緊急連絡装置。 ・監視カメラや防犯灯設置などの防犯対策。
64	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者，退職者が地域貢献できる役割グループをつくり，スマホ，パソコンの講師として活躍する。 ・高齢者の初期段階で体力維持できる場を周知して活用させる。 ・自然を大切に後世に伝える。 ・歴史を大切に後世に伝える。
65	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想に合わせた社会教育を。 ・コロナ禍に応じた意見集約の方策として Zoom などの活用。 ・オリンピック・パラリンピックのレガシー含む歴史的遺産の保存，活用。
66	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢宿を守り育てる（言葉だけではない具体的な取組が必要。）。 ・行政のデジタル化（職員とメールのやり取りができるように元のシステムに変えてほしい。）。
67	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナ，アフターコロナ時代を踏まえ，藤沢市の南北に感染症の外来診療/専門病棟と軽/中等症の施設を早急に整備し，市民病院を一般病気の病院として確保に取り組んでほしい。
68	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策が遅れている。 ・施設人が訓練不足。 ・町内会の会長が任期1年で代わる例が多く，町内会がうまく運営できてない。 ・町内会同士交流して仲良くなるとよい。 ・ボランティア活動の推進。
69	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。 ・子どもと高齢者が安全に暮らせる対策（交通事故減少や行方不明者をなくす。）。
70	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実。 ・防災対策。 ・高齢者向け医療の充実。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
71	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・教育力アップ。 ・高齢者の活用，動けるうちにボランティアを。
72	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりとした収入源を確保し，充実していくこと。
73	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯が住みたいと思うまちづくり。 ・新型コロナウイルス対策に積極的に取り組むべき。 ・モラル優先のまちづくり。
74	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。 ・教育対策。
75	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難行動要支援者対策の個別支援計画については，市の主導により進めてほしい。
76	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。 ・災害対策。
77	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策（予防注射ができるようになったら全世代無料にしてほしい。）。 ・子育てと同じように高齢者，障がい者も生活しやすい環境を進めてほしい。
78	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的に助けを必要とする人たち（幼児，障がい者，高齢者）に優しい社会を作ってほしい。 ・情報端末の扱い方を市が主導して高齢者に行き渡らせてほしい。
79	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のPCR検査が簡単にできるように。 ・南北地域の交流をもっと盛んに。
80	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が収束するよう重点的に取り組んでほしい。
81	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・行政のデジタル化は急務と考える。
82	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害，震災の対策，市民への情報提示（シミュレーション映像等。）。 ・農地，自然の確保。 ・職員の教育，適切な人事。
83	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・辻堂駅C-X周辺の土日の渋滞の緩和。 ・東海道を横切る南北道路の整備。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
84	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て。 ・高齢者福祉。 ・環境。
85	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。
86	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援（子育て世帯すべてに反映させるべき。）。 ・北部について，農業産業を売りにする（新しい取組。）。 ・少年の森（川崎のような楽しい公園づくり，夢パークや大師公園等子どもを育む内容。）。
87	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅，村岡新駅の取りやめ。
88	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア，ヘルパーなどのなり手が減っており，増やす対策。 ・子どもの貧困をなくす。 ・誰もが移動しやすい交通の充実（免許返納者が増えるよう，バス路線の充実，自転車専用道の充実。）。
89	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化は反対（子育てと高齢者の世話が30～50代にのしかかっている。）。
90	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障が安心できる市。 ・高齢化に伴い公共インフラの整備。 ・若い人が住みやすい魅力のあるまち。
91	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・何人も生きる収入を得られる。 ・健康で暮らせる取組を。 ・安心して暮らせる取組を。

以 上

関係団体・協議会等における意見募集の状況

新たな市政運営の総合指針の策定にあたり、関係団体から幅広くご意見をいただくため、各部局と連携し、20年後の藤沢市の姿及び直近4年間に最も重点的に取り組むべきことについてアンケート調査・意見交換会を行っています。

12月18日の議員全員協議会でご報告した12月4日までの状況に加え、1月4日までにいただいているご意見等の状況は、次のとおりです。

1 意見交換・アンケート調査依頼の実施状況

日付	団体名等	方法
10月26日(月)	経済3団体連絡会議	意見交換方式
11月4日(水)	藤沢商工会議所正副会頭会議	意見交換方式
11月6日(金)	藤沢市防犯連合協議会	アンケート方式
11月10日(火)	藤沢市幼児教育協議会	アンケート方式
11月10日(火)	藤沢市生活環境連絡協議会	アンケート方式
11月13日(金)	藤沢市幼稚園協会園長会	アンケート方式
11月13日(金)	藤沢障害福祉法人協議会	アンケート方式
11月17日(火)	藤沢市地域包括支援センター連絡協議会	アンケート方式
11月18日(水)	藤沢市青少年育成協議会	アンケート方式
11月19日(木)	藤沢市青少年指導員協議会	アンケート方式
11月25日(水)	藤沢市民生委員児童委員協議会 会長会	アンケート方式
12月1日(火)	藤沢市民間保育園園長会(社会福祉法人立の園)	アンケート方式
12月3日(木)	藤沢市老人クラブ連合会	アンケート方式
12月4日(金)	法人立保育所の園長会(社会福祉法人立以外の園)	アンケート方式
12月11日(金)	小規模保育事業所の園長会	アンケート方式
12月18日(金)	藤沢市民間保育園設置法人代表者会	アンケート方式
12月22日(火)	各地区の自治町内会連合会会長	意見交換・アンケート方式

※アンケート調査のご意見は、1月上旬までに提出するよう依頼しています。

2 提出状況（1月4日現在までのすべての合計）

- (1) 提出団体 17団体
 (2) 提出者数 110人
 (3) 提出された意見の数 464件

3 提出された意見について

(1) 意見の内訳

区分	政策分野	20年後の姿		直近4年の重点取組	
		回答 件数	割合 (%)	回答 件数	割合 (%)
1	安全な暮らしを守る	31	12.4	22	10.3
2	文化・スポーツを盛んにする	10	4.0	3	1.4
3	自然を守り豊かな環境をつくる	21	8.4	6	2.8
4	子どもたちを守り育む	22	8.8	48	22.4
5	健康で安心な暮らしを支える	42	16.8	53	24.8
6	地域経済を循環させる	30	12.0	16	7.5
7	都市基盤を充実する	25	10.0	31	14.5
8	市民自治・地域づくりを進める	33	13.2	15	7.0
9	その他	36	14.4	20	9.3
合計		250	100.0	214	100.0

※端数処理の都合上、構成比の合計が100%にならない場合があります。

(2) 意見の概要（1月4日現在）

※12月5日以降にいただいたご意見には、右側欄外に「*」印を表記しています。

ア アンケート「20年後の藤沢市の姿」への意見

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
1	藤沢市防犯連合協議会	・交通の利便性を生かしたスポーツ、文化、イベントで人を多く集めることができるまち。 ・犯罪のない安心して生活できるまち。
2	藤沢市防犯連合協議会	・本市の基本理念の文言がめざす都市像として述べられているが、災害等の問題として考えると緑豊かな住みやすいまちに。これ以上の都市開発は止めるべき。

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
3	藤沢市防犯連合協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢都市にならぬよう。 ・若者が集う都市になるよう。 ・仕事場，学びの場の充実のため，企業，学校の誘致。 ・税収アップのためにも。
4	藤沢市防犯連合協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災，減災への取組の充実，13地区それぞれではなく南部，北部での検討が必要。 ・交通の空白地帯解消のため，遠藤～湘南大庭に5万人規模の宅地を通る電車が必要。若い世代，子育て世代の参入のためにも検討すべき。
5	藤沢市防犯連合協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代から高齢者までが安全で安心して過ごせるまち。
6	藤沢市防犯連合協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の夢を受けとめるまちになってほしい。 ・公共交通の利便性を高め，歩いて暮らせるまち。
7	藤沢市防犯連合協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市の特性を活かした政策を推し進めることにより，今以上に魅力のある都市になり，ずっと住み続けられるまちになってほしい。 ・さらに安全で安心して暮らせるまちになってほしい。
8	藤沢市防犯連合協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・働きたい仕事のあるまち。 ・子どもを育てていきたいまち。
9	各地区の自治町内会連合会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が住みやすいまち。 ・交通機関の整備。 ・大学の誘致。 ・企業の誘致。
10	藤沢市地域包括支援センター連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども，高齢者，障がい者，生活困窮者などが安心して暮らせるまち。 ・子どもたちの世代に少しでも経済面で不安のないまち。
11	藤沢市地域包括支援センター連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉台文化体育館周辺の土地を確保し，一大スポーツ公園を造り，地下鉄の延伸と絡めて北部地域の活性化を図るとともに，健康で明るく楽しい市民生活が送れる市となってほしい。

*

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
12	藤沢市地域包括 支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料が5千円以下となり皆が元気に過ごす。 ・0～60歳代が多く、世代間交流が盛ん。 ・観光業，生産業が盛ん。 	
13	藤沢市地域包括 支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども，障がい者，高齢者，生活困窮，DV等の機関に相談しても，必ず対応してくれる相談機関につながるまち。 ・孤立せず，地域で支え合い，隣近所の支えがあるまち。 	
14	藤沢市地域包括 支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の公共施設の多くがオリンピック直後に建設されており，2040年まで施設の建て替えは莫大な資金が必要だが，順次建て替えの検討をお願いしたい。 ・2020年以降の超高齢化社会に適応できる，藤沢市の恵まれた環境をフル活用した都市づくり，地域の環境整備ができることを願っている。 	
15	藤沢市地域包括 支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・これから少子高齢化社会がますます進展していく中で，フォーマルな福祉サービスだけでは十分に対応できないことが予想される。したがって，今後は自助と公助の取組が肝要と感じる。自助と公助の先進的な取組を行う藤沢市であってほしい。 ・障がいのある人もない人も分け隔てなく生活できる藤沢市であってほしい。 	
16	藤沢市地域包括 支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・立地や疾患，家族構成などにより，福祉の相談がしやすくなるような環境づくり。 	*
17	藤沢市地域包括 支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・試算においては約40%もの高齢者の増加が見込まれており，元気な高齢者が多いまちであることが必要だと思う。 	*
18	藤沢市地域包括 支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各地域での豊かな福祉力が広がり，お互いに協力し合う笑顔のまち。 	*
19	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で心身ともに健やかな暮らしができるまち。 ・地域と連携し子どもから高齢者が安全で安心な暮らしが 	

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
19	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会 (続き)	できるまち。
20	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	・藤沢市市政運営の総合指針2024改定素案の具現化が できているまちになってほしい。
21	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な暮らし（救急、消防、警察等の支援体制が一本化され、災害時に誰も取り残されずに情報が届くような制度が整い、人々の往来に危険がなく道路が整備されている。）。 ・文化都市として美術館、ホール、運動施設の充実と各公民館が文化施設としての機能を備えている。 ・環境（持続的な環境保全について子どもの頃から教育がされ、市民の意識にばらつきがない。）。 ・子どもたちと大人が関わりあえる場所が普通にある。 ・高齢化社会を支えるのは地域だけでなく行政と民間で安心できる施設を運営し数も充足している。 ・経済についても、福祉施設の整備ができればテレワークの移住組が来やすい環境になる。 ・都市基盤の整備についても、ユニバーサルデザインによる道路が必要。
22	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者のためにシャトルバスの充実。 ・福祉も大事だが、認知症の予防のため高齢者向けの学校、子どもたちと一緒に学べる場所を作り、給食、体操、演奏会、すべて、子どもたちと交わり、半日カリキュラムでよいので、人生を長く生きてきた人たちから子どもも学んでいくというのはいかがか。
23	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を見込んだ地域開発の充実したまちづくり。 ・工業団の誘致による総合的な豊かな市になってほしい。

*

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
24	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害（特に津波，土砂災害）に強い安全なまち。 ・道路，区画整理を行う。 ・緑豊かなまちを目指し，乳幼児，高齢者，障がいのある方など，誰もが安心して暮らすことのできるまち。 ・交通網の整備（コミュニティバスの運行など）。 	*
25	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでみたいまち，ずっと住みたいまちになってほしい。 ・基本目標1～8にある2040年の藤沢市が目指す姿が実現できたらよい。 	*
26	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網形成（例：立体交通）。 	*
27	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・2040年まで生きたいと思える都市。 ・AI, 通信デジタル機能等を活用し，人間の尊厳をもって生活できる絆社会。 	*
28	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛あふれる藤沢を理念に，市民一人ひとりが地域社会に目を向けるよう，地域を理解できるようなことを発信してほしい。 ・子育て支援には，特に力を注いでほしい。 	*
29	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・20年後といえば，現在進行中のいずみ野線も遠藤地区に入ってきて，A駅B駅そして，健康と文化の森も整備されて，現在の景観から，都市化された遠藤に変わっていることは歴然たるものと思っている。現在の自然の風景に都市化の波が入ってきて，その地域の流れが混然と一体となった地域に変わっていると思う。すばらしき地域の発展を遂げた姿を希望する。 	*
30	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康年齢100歳（数，率），日本一。 ・歯周病等伝染病対策を徹底する。 ・自宅において最後まで生活者（数，率），日本一。 ・近隣愛（向こう三軒両隣）。 	*

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
31	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の委員会（定例会）に出向いて生の我々の声を聞いてほしい。 ・行政（公助），自助，共助のトライアングルを踏まえ，より住むことの特性を生かした政策を考えてほしい。 	*
32	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉が行き届いているとともに，課題を抱えた人たちも子どもたちや子育ての調達が孤立することなく相談窓口が充実し，安心して暮らし続けることができるまちが築かれてる。 ・商業，工業，農業，水産業，観光地等が一体となった個性ある地域が誕生している。 ・道路行政が進み，複数の幹線道路が南北に延び，人，車の移動がスムーズになっている。さらに，主要な道路には歩道が整備され，乳幼児を連れた人たちも安心して歩けるようになっている。 ・南部と北部の地域格差がなくなり，特に北部地域の活性化が図られ生き生きと生活できるようになっている。 	*
33	藤沢障害福祉 法人協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりコンセプト3「インクルーシブ藤沢」のような市。 ・基本目標2「文化・スポーツを盛んにする」に示されたような歴史に根付いた文化水準の高い市。 	
34	藤沢障害福祉 法人協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に関わらず元気な高齢者が生涯現役で納税者になり財政を支え，誇りを持って生きているまち（生産世代減少対策。）。 ・若い世代が子どもを生み育てたいと思える子育てに優しいまち。 ・高齢者，障がい者，外国籍，トランスジェンダーの方等，社会的弱者やマイノリティに寛容で誰もが大切にされその人なりの役割が持てるまち。 	
35	藤沢障害福祉 法人協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・故郷として誇れるまちの姿をめざす「3つのまちづくりコンセプト」の実現を希望する。SDGsの視点を取り入れた考えに賛同する。 ・「8つの基本目標」の中でも『5 健康で安心な暮らしを 	

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
35	藤沢障害福祉 法人協議会 (続き)	支える』について、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の新しい日常が根付き、それを支える制度設計の確立とマンパワーの確保が重要な課題。 ・地域の中でさりげない見守りの風土が根付き、誰もが安心して生活できる藤沢市であってほしい。	
36	藤沢市老人クラブ 連合会	・湘南の理想郷（ユートピア）として藤沢市は住みたいまち、住み続けたいまちとして全国1位にランクされるまちになってほしい。 ・特に、高齢者、障がい者、「生活弱者」と言われる人たちに対し、北欧諸国のように地域の人たちが率先して「互助」活動ができるプラットフォームを構築し、皆が誇りを持ち安心して快適に暮らせるまちになってほしい。	*
37	藤沢市老人クラブ 連合会	・ケアに手厚い安心、安全な暮らしができる藤沢市になってほしい。 ・介護施設、介護士、十分な職員数と待遇改善を。 ・洪水被害のないまちに。 ・川をきれいにして、ホテルが飛ぶ環境づくり。 ・少人数学級の実現。 ・外国人との共生（施設も。）。	*
38	藤沢市老人クラブ 連合会	・災害に強いまち（今後予想される大規模災害に対してさらなる対策を望む。）。 ・市内を流れる河川の治水強化。 ・電柱の撤去（送電線の埋設化。）。 ・子どもから老人まで誰もが暮らしやすいまち（特にバリアフリー歩道の整備を進めてほしい。）。	*
39	藤沢市老人クラブ 連合会	・市全体のことはわからないが、自分が住んでいる遠藤地区は今でも交通が不便の地域がある。何事も市民センターが中心になるが、センターまでの交通をどうするか。自動車もダメ、高齢で足が悪い。センターを中心としたコミュニティバスを運行してほしい。 ・人生100年？高齢者のいないまち。	*

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
40	藤沢市老人クラブ連合会	・高齢者が安心して歩ける道路が必要だと思う。	*
41	藤沢市老人クラブ連合会	・生活弱者が機械化，デジタル化等に頼らない生活ができるような環境にしてもらいたい。 ・生活弱者が安心した生活ができる環境にしてもらいたい（医療，住宅等。）。	*
42	藤沢市老人クラブ連合会	・今後さらに増える高齢者が安心して最後を迎えることができるまち。 ・在宅医療，在宅介護が利用しやすい制度と体制づくり。	*
43	藤沢市老人クラブ連合会	・週末時の道路の渋滞がひどいので道路整備をしてほしい。 道路の整備と環境都市。 ・災害時の一時避難所の確保で安心して暮らせるまちに。	*
44	藤沢市老人クラブ連合会	・交通事故や犯罪のないまちづくり。 ・高齢者の運転免許の早期返納制度を取り入れ，それに代わる地区内無料バス等に取り組んでほしい。	*
45	藤沢市老人クラブ連合会	・南部地区は道路があまりにも狭く，災害等では消防車も入れない。計画的な区画整理ができた住宅地であってほしい。 ・市にふさわしい美術館や芸術劇場等文化的設備があるまち。 ・リタイアした高齢者がしっかり学べるシルバーカレッジ的な学べる場がほしい（例：神戸市のシルバーカレッジ。）。	*
46	藤沢市老人クラブ連合会	・防災環境がさらに整備。 ・活性化につながる江の島，鵠沼海岸等をベースとした観光資源の開発を進める。 ・有形，無形を問わず歴史と文化遺産を維持継承するまち。 ・風力，波，太陽光等を利用し自給自足の発電を進める。 ・高齢者，障がい者，子育て世代が住みやすい安全，安心なスマートシティ。	*
47	藤沢市老人クラブ連合会	・弱者が安心して暮らせる藤沢市であるように，災害に強い市であること。	*

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
48	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致と市政の無駄をなくし財政を豊かにし、全国的に著明な藤沢ブランドの農産物をいくつか重点的に開発する。 ・次世代のため、子育て中の女性が経済的に困らない取り組みを重ね、子育てしやすいまちに。 ・安全安心で暮らしやすいまち。 ・緑豊かに。 ・デジタル先進地の藤沢市になってほしい。 	*
49	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・若手、中堅層（これからの世代を担う方々）に手厚い施策を持った市になり、彼等が安心して暮らせる魅力ある都市になってほしい。 	*
50	藤沢市幼稚園協会園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、福祉の充実。 ・教育の充実。 ・生活環境の充実。 ・世代を超えたつながりができるようなまちであることを期待する。 ・地域全体の活性化「住みやすいまちふじさわ」を目指してほしい。 	
51	藤沢市幼稚園協会園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の人間形成に大切な時期を専業主婦、在宅ワークなどで子どもと共に過ごす家庭のためにも、幼稚園が今のままあり続けてほしい。 ・海のある温もりのある子育てのまちであってほしい。 	
52	藤沢市幼稚園協会園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに基づく共生と地球を守るまちになってほしい。 	
53	藤沢市幼稚園協会園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的都市化ではなく、海があり緑に囲まれている自然を生かし、それらを生活の中に取り入れられたどの世代にも住みやすい環境づくりをめざしてほしい。 ・藤沢発の生産物を増やし、安心して住み続けられるまちづくりを。 ・子育ての環境が整備され安心して暮らせるまちづくり。 ・高齢者や障がい者等不自由な生活を余儀なくされている 	

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
53	藤沢市幼稚園 協会園長会 (続き)	方への環境整備。 ・女性の就労を推奨するだけでなく子育てを重視し両立できる環境づくり。	
54	藤沢市幼稚園 協会園長会	・医療制度が充実したまちになってほしい。 ・教育環境の充実したまちになってほしい。 ・安全で暮らしやすいまちになってほしい。	
55	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	・藤沢市で育った子どもが地元を愛せるまちになってほしい。 ・在園児は20年後、大学生や社会人等になっているが、自己表現が十分でき、多様性が認められるよう育ててほしい。	*
56	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	・20年後には私も高齢者になっているということを考えると、安全で安心な暮らしができるようになっていけば良いと思う。	*
57	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	・多様性を認め合い、礼儀正しく、助け合える文化があるまち。	*
58	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	・安全、治安の良いまち。 ・人が集まる緑ある広場やスペースが多く点在するまち。 ・利便性に向けた開発がされたまち。 ・自然を身近に感じられるまち。	*
59	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	・いつまでも海がきれいなまち。 ・畑や田んぼがあるまち。 ・森や林があり自然が残るまち。 ・福祉にやさしいまちでいてほしい。 ・住みやすいまちNo.1をめざす。	*
60	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	・エコで自然を愛するまち（現在、海岸清掃の活動や3Rの活動がこれまで以上に広まっているが、20年後には3Rが日々の生活の中に十分浸透しているとうれしい。そのために、3Rの取組を積極的にしている市民が、その取組をすることがクオリティオブライフに直結すると望ましいと思う。）。	*

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
61	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	・地域全体で子育てや高齢者のサポートをすることが当たり前なまち（夕方のチャイムを鳴らす際に、「子どもは帰り、大人は子どもが安全に帰れるように促して」と呼びかける市があり、参考にできると良いと感じた。）。	*
62	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	・経済が豊かな都市。 ・福祉が豊かな都市。	*
63	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	・やはり、住みやすいまち。	*
64	藤沢市民間保育園設置法人代表者会	・藤沢市内の地域差が様々な面で大きい現状から打破してほしい。地域の温度差の少ないまちにしてほしい。	*
65	藤沢市民間保育園設置法人代表者会	・2040年には、女性の就職率を高め、藤沢市全体の生産年齢人口の割合を増やしてもらいたい。 ・そのために、子育て世代のニーズに合った公共サービスや施設の整備を行い、教育、福祉の充実したまちづくりをしてほしい。	*
66	法人立保育所の園長会（社会福祉法人立以外の園）	・高齢化が進み、若い世代が少なくなっている中、子どもを育てやすい環境整備をしてほしい。若い世代が藤沢市に根付くような市となってほしい。 ・高齢者にとっても、住みやすく医療や施設等も充実させてほしい。	*
67	法人立保育所（社会福祉法人立以外の園）	・子どもからお年寄りまで暮らしやすいまち。 ・自然豊かなまち。 ・観光地としての発展をしながらも、その地で暮らす人々も不便を感じないようなまちづくりをしてほしい。	*
68	小規模保育事業所の園長会	・すべての年齢や職業の市民が住みやすいまちになってほしい。	*
69	小規模保育事業所の園長会	・道路の整備。子どもたちが犠牲になることのないような整備を強く願う。 ・藤沢の古き良きものは残しつつ、発展に伴う新たなもの	*

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
69	小規模保育事業所の園長会 (続き)	も必要と思う。	
70	小規模保育事業所の園長会	・高齢者、障がい者、子どもたち等が安心して暮らせるまちであってほしい。(例えば、営利ばかりを求める高齢者施設、障がい者施設ではなく、生活保護受給者でも安心して暮らせるグループホームづくりを推進する。保育園も公立園が減少し、法人立園の増加により、営利重視で本来の「子どものための保育」、「保育士が安心して長く勤める環境」を確立することが難しくなるように感じる。行政はそのような現実をしっかりと受け止め、20年後の市民が住みやすい環境整備を実施してもらいたい。)	*
71	小規模保育事業所の園長会	・高齢者を支えられるような人口数。 ・市内に企業を誘致し、財政の安定を図る。 ・子どもたちが伸び伸びと遊べる公園や広場がある。	*
72	藤沢市幼児教育協議会	・福祉面の充実、幼児、高齢者が安心して住めるまち。 ・緑豊かで多様な生き物と共存するまち。 ・市民が安心して生き活きと暮らすまち。	
73	藤沢市青少年指導員協議会	・子どもたちが犯罪に巻き込まれることのない、安全安心な藤沢市。 ・子どもたちが伸びやかに暮らせる藤沢市。 ・インターネットの普及で知識や情報は豊富になっていると思うが、体験から学ぶ大切さも忘れずに育ててほしい藤沢の子どもたち。	
74	藤沢市青少年指導員協議会	・新型コロナウイルス感染症。 ・自然災害に強い市政になってほしい。 ・地域との連携を強化し、ボランティアによる市政参加の道を求め、青少年の健全育成を優先してほしい。 ・青少年、障がい者、高齢者がお互いに助け合える市政を目指してほしい。	

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
75	藤沢市青少年 指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや高齢者，弱い立場の人にやさしいまちに。 ・安全で安心して暮らせるまちになってほしい。 	
76	藤沢市青少年 指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市の南北に広がる土地を生かして第1次産業，第2次産業，第3次産業のバランスのとれたまちになってほしい。そうすることで，「衣食住」＋「生活する中での楽しみ」を藤沢市の中で体感できる。 	
77	藤沢市青少年 指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困のない子どもから年寄りまで安心して暮らせるまち。 ・子育て世帯も独身も若者も一人暮らし高齢者も孤立しないまちづくり。 	
78	藤沢市青少年 指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋が高いのもう少し安くしてほしい。 ・税金も住民税等が高い。 ・水道料金も下水料金もなしにしてほしい。 	
79	藤沢市青少年指 導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとって住みやすくやさしいまちを望む。 	*
80	藤沢市青少年指 導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増える中で，医療，福祉の充実した，お年寄りが住みたいまち1位になってほしい。 	*
81	藤沢市青少年指 導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・江の島は藤沢市にあることを世間の人が知らないことが悔しく思う。 ・どの地区からも富士山が美しく見える電柱のない車道，自動車道，歩道の広い，誰もが住みやすい過ごしやすいまちであってほしい。 ・公園，ボール遊びのできる広場，老若男女みんなが健やかに過ごせるまちであってほしい。 	*
82	藤沢市青少年指 導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・形式的でなく，意義ある，持続可能な市民自治活動，地域づくりをしていけるまち。 	*
83	藤沢市青少年指 導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども，大人，老人が，今以上に安全かつ健やかに，快適に暮らせる藤沢になってほしい。 	*
84	藤沢市青少年指 導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もがいきいきと自分の力を発揮し，取り残されることのない，力強いまちになってほしい。 	*
85	藤沢市青少年指 導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・便利で住みやすい都市。 	*

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）	
86	藤沢市青少年指導員協議会	・平和であたたかなまち。	*
87	藤沢市青少年指導員協議会	・子育て世帯が住みやすく（定住してもらえる）、老人や障がいのある方に配慮のあるまちづくりである市になってほしい。 ・企業誘致をし、雇用のあるまちになってほしい。	*
88	藤沢市青少年育成協議会	・車のいらないまち（徒歩や自転車や電動コミューターで大体の用が済ませるまち。）。	
89	藤沢市青少年育成協議会	・一人ひとりが大切にされる藤沢市であってほしい。	
90	藤沢市青少年育成協議会	・今の自分にはどう変化していくか想像もつかない。 ・ITが進み、日常生活に溶け込むだろう。 ・子どもたちにはどんな時代になっても未来がある故郷として住んで良かったと思えるようなまちになってほしい。 ・伝統と文化は引き継いでほしい。	
91	藤沢市生活環境連絡協議会	・地区の環境美化の意識の高揚（公園脇、河川脇、道路脇にごみのポイ捨てをしない地区に。）。	
92	藤沢市生活環境連絡協議会	・子どもも高齢者も安心して暮らせるまち。 ・デジタルが進んだとしても人と人とのふれあいが希薄にならないような福祉が充実したまちになってほしい。 ・緑が残っている。 ・市民生活に大切な道路が守られている住みやすいまち（繁華街に車の渋滞が起きないようなまち。）。	
93	藤沢市生活環境連絡協議会	・すぐに実行，藤沢市から。 ・きれいで住み良いまちづくり。	
94	藤沢市生活環境連絡協議会	・自然環境を次世代に引き継ぐための未来共生社会の実現。 ・誰一人取り残さないまち。	
95	藤沢市生活環境連絡協議会	・きれいで住み良いまちづくりを継続し，市民一人一人が清潔で住み良い場所，環境衛生思想の向上。	

	団体名等	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
96	藤沢市生活環境 連絡協議会	・時代はすさまじい勢いで情報化が進むと思いますが、効率化だけの行政でなく、市民に温かくて思いやりのあるまちになってほしい。
97	藤沢市生活環境 連絡協議会	・湘南の一部として、藤沢市らしさのまちづくり。 ・安全安心な暮らしができるような市。 ・子育てがしやすい市。
98	藤沢市生活環境 連絡協議会	・湘南の元気都市の中心に藤沢市がその位置を占められるように、発信力のある市になってほしい（湘南市を実現するのの一つの方向性。）。
99	藤沢市生活環境 連絡協議会	・健康と文化の森地区にいずみ野線が延伸されて、農業系、商業系、産業系本地区特有のまちづくりができていると思う。
100	藤沢市生活環境 連絡協議会	・子どもから高齢者、みなが安心して生活できるまちになってほしい。
101	藤沢市生活環境 連絡協議会	・市内には文化活動の施設が多々ありますが、地域差がある。地域差解消のため例えば長後地区等に5,000人～6,000人入場できるようなライブ可能な多目的ホールを作り、地域の活性化を図ってはどうか。

イ アンケート「直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと」への意見

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
1	藤沢市防犯連合 協議会	・村岡新駅を止めて、スポーツ施設をつくるか、今の市民会館を建て替える。 ・迷惑電話防止機能電話機の取り付けは特殊詐欺等に大変効果的なのでより広く周知する。
2	藤沢市防犯連合 協議会	・社会福祉の増進のために地域住民の生活状態の把握、生活困窮者の保護、指導等が不十分、民生委員の増加。 ・新型コロナウイルス感染症対策の中で進められているWeb会議、オンライン化が進むと人と人の郷土愛関係が今後どのようなようになるか。

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
2	藤沢市防犯連合協議会 (続き)	・ 少子高齢化問題。
3	藤沢市防犯連合協議会	・ 市民自治，地域づくり。 ・ 子育て。 ・ 安全な生活ができる。 ・ 失業者対策の見直し。 ・ 犯罪のないまちづくり。
4	藤沢市防犯連合協議会	・ 若い共働き世帯が多く住む都市になるよう，子育て支援の充実は必須。
5	藤沢市防犯連合協議会	・ 防災面の見直し。南部と北部での被害の違いは明確であり，それに則した内容で具体的に準備が必要。
6	藤沢市防犯連合協議会	・ 現行の都市計画の根本的な見直しを含めたまちづくり(当初の都市計画から50年以上が過ぎて，現実的に実行，施行が可能かを考慮した再考。)
7	藤沢市防犯連合協議会	・ 新型コロナウイルス感染症で経験したことのない状況が現実となっている今，経験したことのないチャレンジをする覚悟と勇気を持って医療対策にあたってほしい。 ・ 同理由により経済対策にあたってほしい。
8	藤沢市防犯連合協議会	・ 子どもの監視システム（危険回避のために。)
9	藤沢市防犯連合協議会	・ 若い世代が安心を感じる取組。
10	各地区の自治町内会連合会会長	・ 高齢者が住みやすい施設や交通機関の拡充。 ・ 団地などにエレベーターなどの設置又は新しい団地への改築の援助。 ・ 福祉設備の充実。
11	藤沢市地域包括支援センター連絡協議会	・ 福祉医療の充実(高齢化対策，少子化対策，感染症対策。) ・ 福祉関係職員(従事者)の処遇改善(施設職員に限らず。) ・ 高齢者の足として北部方面のコミュニティバスの充実，新設。

*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
12	藤沢市地域包括支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものころから障がい者，認知症，高齢者など福祉に対しての教育を行い，福祉に対しての理解を深め，福祉の仕事や地域活動に関心を持ってもらい，20年後の担い手になってもらう。 ・役所の手続き，書類等の簡素化，合理化を図り，経費の削減及び高齢者や障がい者でもわかりやすい行政システムの構築に取り組んでもらう。 	
13	藤沢市地域包括支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス，総合事業に頼らない継続的な介護予防。 	
14	藤沢市地域包括支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・いまだに，相談してもたらい回しになるケースがある。形式上ではなく，対応者個々人意識改革も含めて，早急に対応すべきだと考える。個人情報は大切だが，相談機関や病院等が，必要時にうまく連携が取れる体制づくりや精神疾患のケース等保健所の専門性のある立場で，相談機関をもっとバックアップしてほしい。 	
15	藤沢市地域包括支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災，災害対策の充実について重点的に取り組んでいただきたい（近年の地球温暖化による風水害の被害が心配。過去に藤沢橋，片瀬橋が流され，交通に多大な影響がでたことを経験している。柏尾川の水害対策により地域の被害を食い止め，産業，住民の影響を少なくしてほしい。）。 	
16	藤沢市地域包括支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・古い支度の推進（人生会議，成年後見制度，終活ノートなどの普及活動。）。 ・介護，福祉従事者の人材確保政策。 	
17	藤沢市地域包括支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっとした支援を必要とする人とボランティアできる方をつなぐネットワークの整備。 	*
18	藤沢市地域包括支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の老朽化などにより地域の高齢者の集いの場が減ることが予想される。老人センターと称されるような年齢限定の場ではなく，幅広い世代の交流と居場所となる場所が多く必要だと思う。 	*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
19	藤沢市地域包括支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に福祉施設の複合化を進め、相互の連携やプラスプラスの関係強化を推進し、地域の福祉力の充実と豊かさを高める。
20	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策の影響で財政状況も厳しいと思うが、経済対策を最優先に取り組んでほしい。特に藤沢駅周辺の商業機能の強化。 交通利便性を考慮してミニバス等の運行をお願いしたい（交通渋滞の解消。）。
21	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要支援者名簿と民生委員の現況調査、警察、消防の持つ緊急時の情報支援体制の一本化を早急に作ってほしい。自治会の名簿受領の返事を待たずに、行政の要請で進めてほしい。大規模災害時、混乱するのは目に見えている。 インクルーシブ、ダイバーシティ、循環型社会と聞こえはよいが具体的に子どもや子育て世代に特に教育を充実してほしい。 新型コロナウイルス感染症の影響により、ジェンダー意識も20年後退するとも言われている。男性に対しての意識改革が必要。 行政のデジタル化、ワンストップサービス→選挙もオンラインで投票できるようになるとよい。
22	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症という大きな時代の変革を迎えている今、不安な生活、不幸な子どもたちをなんとか救済してあげてほしい。 ヤングケアラーのため学校に行けない児童や青年たちが気軽に相談できる窓口、連絡場所を学校と連携をとり少子化の子どもをみんなで助けていく行政的な指導がほしい。
23	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 財政の十分な健全性の継続。 インクルーシブ藤沢、全てに包括的な藤沢であり全員で誰一人取り残さないまちづくりを。 駅前の老朽化した市の顔の大規模商業施設の産業機能の強化。

*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
24	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・北部地区の開発。 ・工業と農業の両立できるまち。 	*
25	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による経済対策に取り組んでほしい。 ・ひとり親世帯への対策。 ・学生への支援。 ・リストラ、減給による生活困窮（ローン滞納等）による生活に変化を来した人への対策。 ・小学校の教室不足（特に市南部）の解消の取組をお願いしたい。 	*
26	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が仕事を続けるための保育園，学童保育の完備。 ・在宅医療，在宅介護の充実。 ・コロナ対策。 	*
27	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い地域づくり。 ・子どもたちが夢をもって頑張るためのサポートづくり。 	*
28	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ひきこもりのない持続可能な施策。 ・地域イベント，祭りなど身近なところから地区そして市全体へ広がる誰でも参加でき，楽しみを感じるまちづくり。 	*
29	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症を防ぐため，市民が安心して生活できるように，すべての市民が発信を待っている。 ・災害に備え，災害対策に取り組んでほしい。 	*
30	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・早いところいずみ野線が入ってくるのを期待する。 ・子育て支援の充実は大いに必須と感じている。 	*
31	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の強化（自治会入会率100%の義務化，老人会入会率90%）。 ・医師業界（協会）の組織強化。 	*
32	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に対する見える対策を考えてほしい。 ・子育て支援の充実したものに。 ・空き家空き地の有効活用を考えてほしい。 	*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
33	藤沢市民生委員 児童委員協議会 会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の充実に取り組んでほしい。課題を抱えた人も含め、すべての人たちが同じ環境の中で住み続けられるようにしてほしい。 ・地域を支えるボランティアの育成システムの構築に取り組んでほしい。民生委員をはじめ、自治会、社協、地域の団体を支えるボランティアを確保するのが難しい状況となっていることから、行政的に検討してほしい。 ・買い物に困らない環境の整備に取り組んでほしい。身近な商店街の再構築やスーパーの適切な配置に取り組んでほしい。 	*
34	藤沢障害福祉 法人協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢型地域包括ケアシステムの中期目標の着実な実施。 	
35	藤沢障害福祉 法人協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症や大規模災害への対策強化（災害弱者を作らない取組。）。 ・重症心身障がい、医療ケア児者の日中活動及び居住支援。 ・発達障がい児者支援センターの設置（発達障がい児者の療育及び就労支援。）。 	
36	藤沢障害福祉 法人協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、福祉、介護のマンパワーが不足する中で、ロボットやAI、IoT、データベースなど先端技術の活用から、自宅で暮らしながらも安心して適切な医療やサービスなどが受けられるよう、必要な人に適切な支援を提供できる体制をつくること。 ・老い支度の推進（人生会議、成年後見制度、終活ノートなどの普及活動）を行うこと。 	
37	藤沢市老人クラ ブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安心な暮らしを支える（藤沢型地域包括ケアシステムの構築。）。 ・地域経済を循環させる（デジタルの推進。インフラの整備と経済の活性化。）。 ・市民自治、地域づくりを進める（チーム藤沢づくりの推進。）。 ・デジタル庁が進めているマイナンバーカードを核とした行政のデジタル化で行政のコスト削減、生産性の向上及び 	*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
37	藤沢市老人クラブ連合会 (続き)	市民性を高めれば容易に実現可能と考える。	
38	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上のバス料金助成制度（低料金のバス運行）、無料パスカード（免許証返納促進対策にもなる。）。 ・国民健康保険料の軽減。 ・買い物，行政センター等へのミニ路線バス運行。 ・行政のデジタル化の推進。 ・文化施設の充実。美術館，博物館など。 ・慢性的な交通渋滞の解消とパーキングの整備（休日の辻堂駅周辺と134号線。）。 ・下水道を整備して海をきれいに。 ・在宅介護のサポート。 	*
39	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市北部地区の区画整理事業を優先して進めてほしい。 ・御所見地区は高齢化率が高く交通手段の不便さもあって「買い物難民」や「通院難民」が増え，俗に「陸の孤島」と言われている。公共交通手段の充実を図り，年寄りが住みやすい環境を作ってほしい。 	*
40	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・以前のように道路清掃車を運行してほしい。道路沿いの植え込みが最もゴミが積もる（捨てる。）。植え込みを無くし，安全柵にしてほしい。集合住宅，管理の悪い住宅前道路の清掃の義務化。 	*
41	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物難民の解消。 ・子どもの教育には行政の力添えと，道德教育と教師の教育が必要不可欠だと思う。 ・高齢化が進み，介護の問題を考えてもらいたいと思う。 	*
42	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・「村岡新駅」（仮称）の必要性を十分検討してもらいたい。 ・学校施設，各箱物施設等の整備計画を市民に示してもらいたい。 ・整備計画の優先順位を示してもらいたい。 	*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
43	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康寿命を延ばすプラステン体操などの普及と継続する活動の支援。 ・高齢者の健康づくりとして、男女とも、人気のあるグラウンドゴルフをフルコースでできるのは長後地区の北面端に1か所のみ。現在整備中の引地川遊水地に運動公園の整備を早くお願いしたい。 	*
44	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・辻堂地区は南側が広いので、コミュニティバスの地域巡回をしてほしい。 ・小さな公園にもトイレの設備を充実して安心して住める環境を作ってほしい。 ・高齢者でも行政の手続きがスムーズにできるシステムを作り、取り組んでほしい。 ・子どもたちのイベントが少ないので、もっと楽しい日々を送れるよう取り組んでほしい。 	*
45	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯、交通安全にかかわる街路樹は撤去してほしい。子どもや高齢者の事故をなくすためにも安心なまちをつくりたい。 ・高齢者が気楽に立ち寄れる場所が各地区にほしい。 ・健康寿命を延ばすために公園健康体操をやっているが、専門の指導者がほしい。 	*
46	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心して住めるまちづくり。 ・移動手段として小型乗り合い自動車の運行（タウンバスの充実。）。 ・鵜沼海岸にシャワールーム（有料でも）や洗い場の設置（現状はこうした設備が不足。）。 	*
47	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の運転免許書返納を促進するために1万円/年で市内の交通機関を利用できるフリーパス券の発行（高齢者の運転事故防止。）。 ・学童保育の補助員として高齢者を学童指導員（資格不要）として採用する。 	*
48	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策を重点に。 ・老人が安心して暮らせる市であるように。 	*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
49	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターを村岡地区へ。 ・Wi-Fiフリー化（公共施設，町内会館。）。 ・使い勝手の良い藤沢市高齢者いきいき交流助成券（例：交通機関での利用など。）。 	*
50	藤沢市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを守り育て。 ・若者層が安心して暮らせる保育事業の拡充。 	*
51	藤沢市幼稚園協会園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに結果が出ることには取り組んでほしい。その優先順位が長期的な視野や展望の中で，直近の課題を位置づけ市民に見えやすい形にしてほしい。 	
52	藤沢市幼稚園協会園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園が安定した経営を行っていきけるような支援。 ・子育て世代への支援（母が仕事をしていなくても，子育てが安心してできるような支援，幼児期に親子の時間がゆっくりと取れるような支援。）。 	
53	藤沢市幼稚園協会園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・すべては教育から始まる。教育が貧困の負の連鎖をたち切り，未来に向かっていく大きな原動力になっていく。そのためにも幼稚園の経営，人材育成，人材確保のためにも，保育園だけでなく，幼稚園にも市のバックアップを切に願う。 	
54	藤沢市幼稚園協会園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園との情報共有を図ってほしい。 ・幼稚園経営補助金の増額。 ・幼稚園人材確保の援助。 	
55	藤沢市幼稚園協会園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・交通体系の整備。 ・産業，観光，流通の発展による心豊かな社会づくり。 	
56	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援。取り分け，保育園の質の向上。（子どもが育つ1つには，保育の質の向上が必要。そのためには，今の保育士不足の状況では叶えることは難しい。他市に比べ，藤沢市の保育園の魅力は低いと思う。）。 	*
57	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実。 ・道路の整備（自転車，歩道，車道の区別。）。 ・公園の整備（ボール，スケートボード，散策の区分け。）。 ・子どもの声は騒音ではないという考えを市長がみせてほしい。 	*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
58	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭課の専門員の増員希望。 ・いわゆる支援が必要な子どもと保護者が、「混んでいます」という理由でグループでの活動を断られている。「インクルーシブ藤沢」をめざしましょう。 	*
59	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックが開催されるのであれば、安全安心な実施。 ・地域経済がきちんと回るような経済対策。 ・住みやすく安全なまちづくり。 	*
60	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、辻堂地区では人口が大幅増となっている。同時に、交通渋滞がすさまじい状態となっている。今後必ず来ると言われている大地震に向けても喫緊の課題だと思う。 ・子育て世帯が増えたのと同時に保育所も増えているが、公園の整備も追いついていない。 ・残念ながら、人口増により治安の悪化も懸念している。特に、辻堂駅周辺の夕方から夜中にかけては大騒ぎする人もいる。神台地区に交番が無いのは非常に問題だと思う。 	*
61	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・成人（18歳）までの医療費負担軽減。 ・高齢者への金銭的負担の軽減。 	*
62	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致（マンションを建設するのではなく、企業を誘致し、都市を活性化させる。）。 ・福祉職雇用支援（介護、保育などが人手不足となっている。他市のように市で独自補助を行い、人手不足を解消してほしい。）。 	*
63	藤沢市民間保育園園長会（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育所の中身の充実」（豊かな保育環境をつくるには、保育士配置基準の改善が必要。国の基準では不十分であり、最低でも早期に横浜市の基準にすべきと考える。今後、4年間は保育士不足が続くであろうが、豊かさについても検討願いたい。）。 	*
64	藤沢市民間保育園設置法人代表者会	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康と文化の森」及び相鉄いずみの線延伸計画の推進に取り組んでほしい。 	*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
65	藤沢市民間保育園設置法人代表者会	<ul style="list-style-type: none"> ・公共サービス（保育園，障がい者施設）の民営化。 ・子育て支援の充実。 ・湘南台駅，藤沢駅周辺の開発。 	*
66	法人立保育所の園長会（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な散歩ルートの確保（信号，ガードレール。）。 	*
67	法人立保育所（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園勤務者に対しての補助の充実に取り組んでほしい。 ・保育士不足の解消。 ・園児受け入れ人数の調整。 	*
68	法人立保育所（社会福祉法人立の園）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実（子育てに関しては広く平等に（所得制限なく）支援してもらいたい。共働き世帯も多い中，何が必要か，求められているかをしっかりと把握し，取り組んでもらいたい。）。 	*
69	小規模保育事業所の園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園，小学校の整備（保育園が増えているが，保育士が不足。近隣では市の補助金が強力な力となり，藤沢市では保育士の確保が厳しくなっている。小学校の受け入れが整備されておらず，学級崩壊や教育の低下を招いている。市のマンパワーの低下の直結を危惧している。）。 	*
70	小規模保育事業所の園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護の人たちへカウンセリングを受けてほしい。 ・あらゆる方向から精神的なサポートや支援をしてほしい。 	*
71	小規模保育事業所の園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育園運営の安定（企業を募り，保育園ばかりを乱立させ，「あとは勝手にどうぞ」で，いざ蓋を開けると保育士不足，3歳児以上の園児の定員割れ等が発生し，企業の保育園運営が危うくなるという事にならないよう，行政が保育士確保のための独自の策を考えてもらいたい。）。 	*
72	小規模保育事業所の園長会	<ul style="list-style-type: none"> ・今は，コロナの影響で経済的に苦しい事業者の救済に取り組んでほしいと思う。 	*
73	藤沢市幼児教育協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 推進。 ・福祉の充実。 ・幼児教育が格差なく受けられるように。 	

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
74	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが貧困に悩まずに生活できるように取り組んでほしい。 ・オンライン学習をしたくても経済的に無理なことがないよう支援してほしい。 	
75	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症における従来の市政運営を改め、オンラインや電子化による政策を重点化。 ・オンライン授業等を重点に考える場合、子どもたちの理解度、教師の力量を研修等で学ぶ機会を与えてほしい。 ・今後の環境問題について、毎年、重点的に取り組んでほしい。 	
76	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症でダメージを受けた市内産業が存続できるような取組。 ・高齢化にともなってまちがさびれていかないようにする取組。 	
77	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響下での経済対策の充実。 ・新型コロナウイルス感染症の影響下での医療体制の充実。 	
78	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症からの脱却（経済、医療、学業。）。 	
79	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りや子ども、子育て世代が毎日笑って生活できる環境の充実。 ・公園を増やす。 ・生活が厳しい人が多いので給付金を自治体で渡してほしい。 	
80	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害対応。 ・インフラ整備。 ・子どもたちにとって安心、安全に遊べる公園等の充実。 	*
81	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイズコロナ下での経済活性化を重点的に取り組んでほしい。 ・行政、学校関連のデジタル化を進めてほしい。 	*

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）	
82	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援（貧困，障がい，ひとり親，ダブルケア）の充実。 ・高齢者支援（介護保険，医療費，交通（バス，タクシー）費の無料又は緩和，居場所などの充実。）。 	*
83	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを守り育む環境づくりに重点的に取り組んでほしい。 ・子どもの教育環境の充実，助けを必要とする子ども，保護者への支援。 ・学校と地域団体，地域住民との子どもを取り巻く良好な関係づくり。 	*
84	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の安全のため，新型コロナウイルスへの対応。 ・一般市民が簡単に利用できる行政窓口のデジタル化。 	*
85	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり。（そのために，女性の視点を取り入れるシステムの構築。）。 	*
86	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の充実。 ・子どもたちの居場所づくり（ボールの使える公園。）。 	*
87	藤沢市青少年指導員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所がある藤沢駅周辺が古い時代のままで，今の時代に合っていない。魅力ある藤沢になってほしい（ショッピング，娯楽。）。 ・医療面では，インフルエンザなどの予防接種が足りず，受けられない人が多くいるので，ワクチン類は市民が公平に受けられるようになってほしい。 	*
88	藤沢市青少年育成協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と文化の森地区の土地区画整理に合わせ，相鉄いずみ野線延伸の計画の早期実現の措置。 	
89	藤沢市青少年育成協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策に重点を置いて取り組んで欲しい（事後の対策を含む。）。 	
90	藤沢市青少年育成協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のここ1～2年間，子どもたちに様々な影響を与えていると思う。将来のことを思うと，子育て支援の充実，0歳～高校生まで。 	

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
91	藤沢市生活環境 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別によりごみの減少。 ・資源ごみを各家庭前収集にする（資源ごみの収集場所の確保が難しい）。
92	藤沢市生活環境 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する福祉，生活支援。 ・市民センターの充実（地域の特性に合わせた業務内容）。
93	藤沢市生活環境 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな政策方針でも市民が理解しない，理解できないと最悪である。いかによいコミュニケーションができるかが解決の道だと思う。理解できたら次は市民が自覚を持った自主活動が必要で，全ての事業はこのキャッチボールで改善されていくものだと思う。ぜひ表現を変えて市民に解るPR活動をお願いしたい。
94	藤沢市生活環境 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症下での経済対策をしてほしい。 ・健康で安心な暮らしを支える。
95	藤沢市生活環境 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな環境をつくる。 ・市民自治，地域づくりを進める。
96	藤沢市生活環境 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害，暴風，集中豪雨が多くなっているのので，地震は言うに及ばず万全の備えを第一をお願いしたい。 ・人と人との関係を高める施策，そっとしておいてほしいという人の施策。
97	藤沢市生活環境 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢駅付近の再整備を含めて，藤沢市の顔として人が集まり活性化するように。 ・高齢者が生活できるように。
98	藤沢市生活環境 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と文化の森地区に鉄道延伸事業の認可。
99	藤沢市生活環境 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親世帯に対する貧困是正のための公的補助の充実。 ・民生委員の自治会，町内会の推薦制の改正，自選制度創設。 ・自治会，町内会の運営を透明化し，楽しい元気な自治会にする。

	団体名等	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
100	藤沢市生活環境連絡協議会	・市の税収の減少が認められる場合は、事業の見直しをしてほしい。
101	藤沢市生活環境連絡協議会	・市内の小田急線駅周辺道路は車の渋滞が激しい。交通体系の見直し、道路渋滞の原因を個別に調査し、解消してもらいたい（交通事故防止と省エネのために必要と考える。）。

ウ 意見交換によるもの

	団体名等	意見交換の内容（一部要約）
1	経済3団体連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に触れているが、コロナ終息後を前提としているのか、コロナとの同居が前提なのか。 ・前提を丁寧に説明すべき。 ・定点基準を設定し、現状把握、予想等を繰り返し、施策に反映すべき。 ・例えば、野球、音楽や映画も同じで、観ると心が安らぎ豊かになり、人を動かす効果は大きい。人を動かすために何をしたらいいかを示すべき。
2	経済3団体連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・人が動かないと経済は動かない。 ・新型コロナウイルス感染症の説明がもう少しあった方がよいし、市の考えをきちんと示すべき。
3	経済3団体連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標2「文化・スポーツを盛んにする」の長期課題にはもっと記載すべき。 ・基本目標6「地域経済を循環させる」の「2040年の藤沢市の姿」の中で、人の動きに触れた記載がない。
4	藤沢商工会議所正副会頭会議	<ul style="list-style-type: none"> ・20年先を見据えて、人口減の問題は重要。高齢者が増えると年金や医療費など様々な問題があるが、4年スパンの重点方針にどう盛り込むのか。 ・高齢者が、働ける場所やレクリエーション等の充実した時間を送ることができる場所があるとよい。 ・若者の意見や行動力を生かすと言っても、話し合いに参加するのは高齢者ばかりだ。若い人の共感を呼ぶ事例や、スポーツやイベント等のぎっくばらんなものも必要ではな

	団体名等	意見交換の内容（一部要約）
4	藤沢商工会議所正 副会頭会議 (続き)	<p>いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域経済の循環には商店街が重要。4 1 商店街の長期的な方向性も入れた方がよい。 ・ 村岡新駅は、20年あればどのようなまちができるのか見えてきている。 ・ 藤沢駅周辺は、近隣商業施設があるうちに、てこ入れが必要だ。方向性を出すべき。 ・ 3線乗り入れの優位性を保つためには商業優先で。将来的には有効なので、英断をもって藤沢駅周辺の再開発を検討されるよう支援してほしい。 ・ 江の島の観光客は1,900万人いるが、経済効果を高めるよう、ブランド力をつけてもっとスターにしていくべき。 ・ SDGs は幅広の取組で、市のイメージアップにもつながる。一緒に取り組んでいけるとよい。
5	藤沢商工会議所正 副会頭会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20年先を見据えた長期ビジョンは、市民アンケートで市民の声を吸収しながら多岐にわたる中で落とし込んでいく。すべての面を網羅するのは大変だが、内容は期待できる。 ・ 4年間でもよいのでビジョンに見合う定量的な目標を示すべき。例えば、観光客はターゲットをどうするのか、インバウンドなのか。定量的に20年先は何人を目標にするのか。農業の活性化では市全面積のうち、どれ位の面積を農業に割り当てるのか、生産量は増やしていくのかなど。そういうことが具体的なアクションプランにつながる。 ・ 人口は何人まで目指すのか。それに見合う財政規模はどのようなのか。拡大なのか、縮小・均衡なのか、人口と財政のギャップをどう埋めるのかという指針に付随する財政計画も示すべき。 ・ 人口流入と合わせて、事業所の増加、企業誘致も大切だ。圏央道開通によるメリットがあるので、定量的に示すべき。 ・ 「郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし湘南の元気

	団体名等	意見交換の内容（一部要約）	
5	藤沢商工会議所正 副会頭会議 (続き)	都市～」は、3つのコンセプトとギャップがある。 ・最先端、バランス型、歴史文化など、市としての軸足をどこに置くのかを確認すべき。	
6	藤沢商工会議所正 副会頭会議	・人の雇用を、となると研究開発より工業、モノづくりではないか。2040年までではなく、4～5年の方向性を示してほしい。 ・IT, IoT, AI, オンライン学習等の記載があるが、市全体で具体的なビジョンはあるのか。 ・民間からの様々な提言ともリンクさせ、まちづくりに生かしてほしい。 ・基本目標2「生涯スポーツで健康に」という考え方は理解できるが、スポーツを資源とした経済活性化の視点も入れてほしい。	
7	藤沢商工会議所正 副会頭会議	・スポーツ推進会議で、施設が障がい者にやさしくないとの意見がある。障がい者がスポーツしやすいよう環境整備をしてもらいたい。	
8	各地区の自治町内 会連合会会長	・災害対策について。避難所として市とマンションとで提携していたが、断られるケースが増えている。市として改めて確認をしてもらい、受け入れてもらえるような方策を考えてもらいたい。	*
9	各地区の自治町内 会連合会会長	・リモート会議をやるのもいいが、パソコン操作が簡単にできるようにしてもらいたい。	*

※ご意見の集計は、意見の内訳「20年後の姿」欄にまとめて集計しています。

以 上

重点事業(案)の検討状況について

12月18日開催の議員全員協議会に報告した「(仮称)藤沢市市政運営の総合指針2024(素案)」において、「想定重点事業の例」として記載した事業を中心に、重点事業(案)の選定を行います。

下表に追加・修正が必要な事業があれば1月13日(水)までに各部総務課経由で企画政策課までご連絡ください。

引き続き、事業費の全体を重点事業化することが適当でない事業費については、事業費分割の可否についてご検討ください。なお、特別会計事業費の取扱いについても、引き続き、関係部と調整いたします。

No.	重点事業(案)候補	課名(括弧内は新組織名(案))	2020 重点事業	2024 重点事業		
				1/7 検討状況	まちづくり テーマ	重点施策
総務部						
1	1 (新)デジタル推進事業費	行政総務課、IT推進課、企画政策課、産業労働課(デジタル推進室)		○	5	2
2	2 職員採用関係費	職員課		○	5	3
3	3 職員基本研修費	職員課		○	5	3
4	4 職員専門研修費	職員課		○	5	3
防災安全部						
5	1 防災設備等整備事業費	防災政策課	○	○	1	1
6	2 危機管理対策事業費	危機管理課	○	○	1	1
7	3 街頭防犯カメラ設置推進事業費	防犯交通安全課	○	○	1	2
8	4 防犯対策強化事業費	防犯交通安全課		○	1	2
市民自治部						
9	1 ミライカナエル活動サポート事業費	市民自治推進課	○	○	2	3
	2 (頼りになる拠点施設関連)	市民自治推進課			2	3
10-22	3 地域まちづくり事業費(13地区)	市民自治推進課	○	○	2	3
23	4 善行市民センター改築事業費	市民自治推進課	○	○	4	1
24	5 辻堂市民センター改築事業費	市民自治推進課	○	○	4	1
25	6 個人番号カード普及促進事業費	市民窓口センター		○	5	2
生涯学習部						
26	1 村岡公民館改築事業費	村岡公民館	○	○	4	1
27	2 市民会館整備費	文化芸術課	○	○	4 5	1 4
28	3 アートスペース運営管理費	文化芸術課	○	○	5	4
29	4 スポーツ都市宣言推進事業費	スポーツ推進課		○	5	5
	5 図書館情報ネットワーク事業費	総合市民図書館			5	2
30	6 オリンピック開催準備関係費	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室	○	○	5	5
福祉健康部(保健所除く)						
31	1 (新)障がい者相談支援事業費 (地域生活支援事業費から分割)	障がい福祉課	○	○	2	1
32	2 生活困窮者自立支援事業費	地域包括ケアシステム推進室 (地域共生社会推進室)	○	○	2 3	1 3
33	3 包括的支援体制推進事業費	地域包括ケアシステム推進室 (地域共生社会推進室)	○	○	2	1
34	4 地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域包括ケアシステム推進室 (地域共生社会推進室)	○	○	2	1



No.	重点事業(案)候補	課名(括弧内は新組織名(案))	2020 重点事業	2024 重点事業		
				1/7 検討状況	まちづくり テーマ	重点施策
35	5 成年後見制度等推進事業費	地域包括ケアシステム推進室 (地域共生社会推進室)	○	○	2	1
36	6 介護保険事業費(包括的支援関連)	地域包括ケアシステム推進室(高 齢者支援課・地域共生社会推進 室・地域医療推進課)		○(特会)	2	1
37	7 介護保険事業費(介護予防関連)	介護保険課・地域包括ケアシステ ム推進室(高齢者支援課・介護保 険課)		○(特会)	2	2
38	8 介護人材育成支援事業費	介護保険課	○	○	5	3
保健所						
39	1 健康づくり推進事業費	健康増進課	○	○	2	2
40	2 がん検診事業費	健康増進課	○	○	2	2
41	3 感染症対策事業費	保健予防課		○	1	3
子ども青少年部						
	1 子育て関係事務費	子育て企画課			3	2
42	2 法人立保育所運営費等助成事業費(保育士確保除く)	保育課	○	○	3	2
43	3 法人立保育所運営費等助成事業費(保育士確保)	保育課	○	○	5	3
44	4 市立保育所運営費	保育課		○	3	2
45	5 妊娠・出産包括支援事業費	子ども健康課		○	3	2
46	6 少年の森整備事業費	青少年課		○	3	2
47	7 放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	○	○	3	2
48	8 放課後児童健全育成事業費	青少年課		○	3	2
環境部						
49	1 環境基本計画関係費	環境総務課		○	5	1
50	2 地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	○	○	5	1
51	3 環境啓発推進事業費	環境総務課		○	5	1
52	4 海岸美化関係費	環境総務課		○	5	1
53	5 ごみ減量推進事業費	環境総務課		○	5	1
54	6 環境事業センター整備費	環境事業センター		○	4	1
55	7 一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	○	○	4	1
経済部						
56	1 就労支援事業費	産業労働課	○	○	3 5	3 3
	2 (新型コロナウイルス感染症の影響に対応する経済対 策)	産業労働課			4	3
57	3 誘客宣伝事業費	観光シティブロモーション課	○	○	4	3
58	4 観光施設整備費	観光シティブロモーション課	○	○	4	3
59	5 シティブロモーション関係費	観光シティブロモーション課 (広報シティブロモーション課)	○	○	5	4
60	6 担い手育成支援事業費(農業)	農業水産課	○	○	5	3
計画建築部						
61	1 総合交通体系推進業務費	都市計画課	○	○	4	2
62	2 建築物等防災対策事業費	建築指導課	○	○	1	1
63	3 空き家対策関係費	住宅政策課	○	○	4	2
64	4 住宅政策推進費	住宅政策課	○	○	4	2

No.	重点事業(案)候補	課名(括弧内は新組織名(案))	2020 重点事業	2024 重点事業		
				1/7 検討状況	まちづくり テーマ	重点施策
65	5 景観資源推進費	街なみ景観課		○	5	4
都市整備部						
66	1 村岡地区都市拠点総合整備事業費	都市整備課		○調整	4	1
67	2 長後地区整備事業費	都市整備課、長後地区整備事務所	○	○	4	1
68	3 公園改修費(法面对策)	公園課		○	1	1
69	4 公園改修費(鵜沼海浜公園)	公園課		○	4	1
70	5 緑地保全事業費	みどり保全課		○	5	1
71	6 緑地改修事業費	みどり保全課		○	1	1
72	7 自然環境共生推進事業費	みどり保全課	○	○	5	1
73	8 藤沢駅周辺地区再整備事業	藤沢駅周辺地区整備担当	○	○	4	1
74	9 健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	○	○	4	1
道路河川部						
75	1 自転車駐車場整備費	道路河川総務課	○	○	1	2
76	2 市道新設改良費(自転車走行空間整備事業)	道路整備課		○	1	2
77	3 一色川改修費	河川水路課	○	○	1	1
78	4 市道新設改良費(藤沢652号線)	道路整備課	○	○調整	4 4	1 2
79	5 善行長後線街路新設事業費	道路整備課		○	4 4	1 2
下水道部						
80	1 下水道事業費	下水道管路課、下水道施設課		○(特会)	4 5	1 1
消防局						
81	1 大規模震災等対策強化事業費	警防課	○	○	1	1
教育部						
82	1 教育情報機器関係費	教育総務課	○	○	3 5	1 2
83	2 教育情報化推進事業費	教育総務課	○	○	3 5	1 2
84	3 (新)学校運営協議会推進事業費(事務局運営費から分割)	教育総務課		○	3	1
85	4 諸整備事業費(特別支援学校)	学校施設課		○	3	1
86	5 鵜沼小学校改築事業費	学校施設課	○	○	4	1
87	6 特別支援教育整備事業費	教育指導課		○	3	1

【追加確認】以下の事業については、重点事業(案)への追加の可能性を関係部に確認させていただきます。

- (新)ロボット未来社会推進事業費(デジタル推進室): ロボテラス事業, 少年少女ロボットセミナー, 行政課題解決(ロボット)
- 歯科健康診査事業費(健康増進課): 成人歯科検診対象年齢に80歳を追加など
- 子どもの生活支援事業費(子ども家庭課): 3-(3)支援を必要とする子ども・若者への支援の充実(総合指針2020重点事業)
- 子ども・若者育成支援事業費(青少年課): 3-(3)支援を必要とする子ども・若者への支援の充実(総合指針2020重点事業)
- 道路安全対策費(道路維持課): 交差点に計画的に車止めやガードパイプを設置する安全対策の実施など
- 南消防署本町出張所再整備事業
- 墓園事業費(大庭台墓園立体墓地再整備事業)